

第二期

まち・ひと・しごと創生総合戦略
実績報告書（令和6年度）

目次

| | | |
|--------|-------------------------------|----|
| 基本目標 1 | まちの魅力を向上させ、新たなひとの流れをつくる | 1 |
| (1) | 戦略的な情報発信 | 1 |
| (2) | 創業を希望している市民への支援 | 3 |
| (3) | 産業の振興と雇用の促進 | 4 |
| (4) | 時代のニーズに対応する農業の創造 | 7 |
| (5) | 個性豊かな観光施策の推進 | 10 |
| (6) | 利便性の高い公共交通網の形成 | 14 |
| (7) | にぎわいと活力ある魅力的なみち・まちづくり | 15 |
| 基本目標 2 | 若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える | 16 |
| (1) | 結婚・妊娠・出産・子育てへの支援 | 17 |
| (2) | 子育てしやすいまちづくり | 21 |
| (3) | 子どもの知力・体力の向上 | 25 |
| (4) | 教育環境の整備 | 27 |
| 基本目標 3 | 誰もが安心して暮らし続けられる地域をつくる | 28 |
| (1) | 交通利便性や買い物環境の向上に向けたまちづくり | 29 |
| (2) | 安心して暮らせるまちづくり | 30 |
| (3) | 健康でいきいきと暮らせるまちづくり | 32 |
| 参考資料 | | |
| (1) | 第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略掲載事業 進捗状況一覧 | 41 |

【留意事項】

＜指標について＞

K P I : Key Performance Indicator の略称。客観的な重要業績評価指標のことです。

C S F : Critical Success Factor の略称。主要要因と訳され、目標達成に大きく影響する事業のことです。

＜指標の評価について＞

○ 現況値（平成 30 年度実績）と当該年度の実績を比較しています。

○ 評価については、以下の4段階で実施しています。

- ① ◎：目標値達成
- ② ○：現況値超目標値未満
- ③ △：現況値以下
- ④ ー：数値が判明していない

＜再掲事業について＞

○ 総合戦略内で【再掲】と記載されている事業については、省略しています。

基本目標 1 まちの魅力を向上させ、新たなひとの流れをつくる

数値目標

| 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|--------------|----------|----|----------|----|
| 市外からの平日の滞在人口 | 16,660 人 | — | 17,493 人 | — |
| 市外からの休日の滞在人口 | 16,951 人 | — | 17,799 人 | — |

※ 14 時時点の平均値

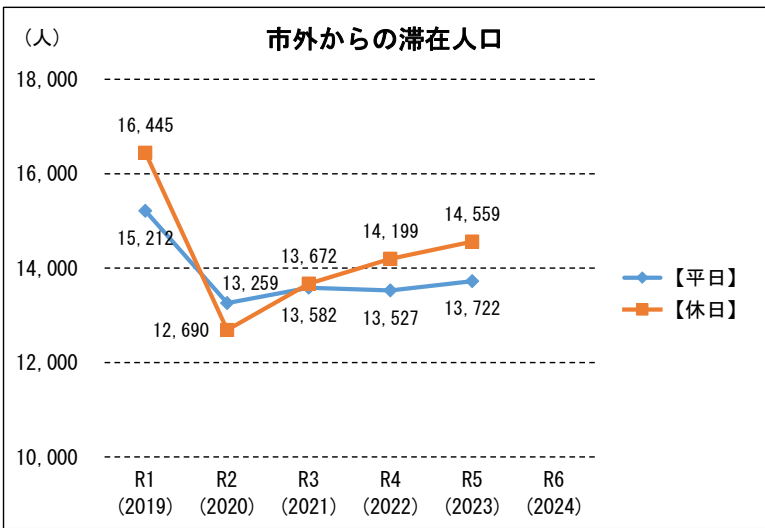
目標達成への課題

(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)

昨年度までデータを収集していた地域経済分析システム「RESAS」が、令和 7 年 3 月に大幅に改修され、同様のデータが収集できなくなったため、数値は「—」としている。低迷していた市外からの滞在人口は緩やかに持ち直していくことが見込まれるものの、滞在人口増加のためには、市の魅力の発信等、市外に対し市を PR する施策が必要である。

課題を踏まえた令和 7 年度以降の主な取組等

S N S を活用した積極的な市の魅力の発信、デジタルを活用した地域活性化等の実施に努める。



※ 2023 年の数値は 1 月から 6 月までの平均値

具体的施策

(1) 戦略的な情報発信

<重要業績評価指標 (KPI)>

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|-----------------------|-------------|-------------|-------------|----|
| K P I | 市ホームページアクセス数 (トップページ) | 276,230 件/年 | 286,408 件/年 | 500,000 件/年 | ○ |

| | |
|--|--|
| 施策の概要 | 「担当課だけでなく全庁で取り組む広報」、「情報を分かりやすく発信する広報」、「必要とする人が見つけやすい広報」という広報戦略の 3 つの柱に基づき、市の魅力を効果的に周知する。 |
| 令和 6 年度の 主な取組内容・実績 | <ul style="list-style-type: none">市からの情報発信を迅速に行うため、各関係部署と連携した情報発信の実施市報作成に当たり、多くの市民の目に留まるよう、企画記事等を作成職員向け広報研修の実施 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | S N S や Q R コード等の活用により、トップページを経由せずに該当のページへアクセスすることが容易となった。それに伴い、トップページへのアクセス数は減少傾向にあるが、市ホームページへの総アクセス数はこれまでの減少が見られない。 |
| 課題を踏まえた 令和 7 年度以降の 主な取組等 | 利用者にとって使いやすいホームページを作成するため、検索機能の強化やサイト階層の整理を行う。 また、引き続き市報・S N S を通じてホームページへのアクセスを促す。 |

<主な事業とCSF>

| | | |
|---|------------------|-----------|
| ① | 事業名：市ホームページ情報の充実 | 事業課：秘書広報課 |
|---|------------------|-----------|

| | |
|--|---|
| 施策の概要 | 重要な情報発信媒体である市ホームページについて、より一層アクセシビリティに配慮するとともに、トップページから利用者が求める情報にたどり着きやすくなるよう情報を整理し、トップページのカラーセルバナー等で発信する情報を充実させる。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | ○ 各課からの要望等に基づき、各種事業やイベントに関するカラーセルバナーを作成 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 引き続き、分かりやすい情報発信を心掛け、カラーセルバナーの更新を行っていく。 カラーセルバナーへの掲載方法を知らない職員が多い。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 職員向けの広報マニュアルを整備し、カラーセルバナーの活用について促進を図る。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|-------------------|----------|--------|---------|----|
| CSF | カラーセルバナーに掲載するページ数 | 18 ページ | 19 ページ | 30 ページ | ○ |

| | | |
|---|--------------------|-----------|
| ② | 事業名：SNS等による広報手段の充実 | 事業課：秘書広報課 |
|---|--------------------|-----------|

| | |
|--|--|
| 施策の概要 | 市政情報の効果的な周知を図るため、引き続きソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）を活用し、定期発信の情報ではなく、リアルタイムの情報発信に努める。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | ○ SNSを活用した情報発信 ○ イベント開催時や市報発行時等、なるべく多くの投稿を実施 ○ 「すぐメールプラス+」を導入し、従前のSNSだけでなくLINEからも発信できるようになった。 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | #MM教え隊：名称が分かりづらいためあまり浸透せず、また事業開始から一定の期間が経過したことから、令和6年度は0件であった。 市公式X（旧 Twitter）リポスト数：河合郁人氏の観光大使の就任により、リポスト数が大幅に伸びたため、積極的に活用を図る。 フェイスブックフォロワー（いいね）数：フェイスブック自体が下火になってきたため、あまりフォロワーが伸びていない。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 引き続きイベントのお知らせ等について積極的に発信するよう、各課に意識啓発を行っていく。 また、ハッシュタグや画像を活用するなど、投稿内容についてもより拡散しやすいものにするよう周知する。 #MM教え隊に代わる、新たなハッシュタグを検討し、情報発信に使用する。 SNS投稿に当たってのマニュアル（文章の作り方）等を作成し、庁内全体で活発なSNS発信を行う。 各種SNSの流行を捉え、新たなサービスの活用についても検討する。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|----------------------|----------|-----------|-----------|----|
| CSF | 「#MM教え隊」市以外からのSNS発信数 | 409 回/年 | 0 件/年 | 600 回/年 | △ |
| CSF | 市公式ツイッター「リツイート」数 | 未実施 | 3,825 件/年 | 1,200 件/年 | ◎ |
| CSF | 市公式フェイスブック「いいね！」件数 | 817 件/年 | 1,133 件/年 | 1,200 件/年 | ○ |

(2) 創業を希望している市民への支援

<重要業績評価指標（KPI）>

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|-----------------|----------|-------|---------|----|
| KPI | 創業支援制度を利用した創業者数 | 2人/年 | 13人/年 | 21人/年 | ○ |

| | |
|--|---|
| 施策の概要 | 創業支援等事業計画に基づく特定創業支援等事業（創業塾、創業セミナー、創業交流会及び個別相談）を実施し、市内での創業を希望する者の支援を行う。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | <ul style="list-style-type: none"> ○ むらやま創業塾「ゆめ」：参加者13人（全5回） ○ 個別相談：参加者延べ32人（個別相談の実施回数を増加） ○ 創業補助金：利用者3人 ○ 武蔵村山市創業セミナー：参加者7人（全1回） ○ ローカルスタートアップ支援事業としてビジネスプランコンテストを実施し、創業機運を醸成 |
| 目標達成への課題 （目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など） | <p>創業機運の醸成を図り、創業者を更に増やす必要がある。</p> <p>なお、創業者数等の実績について、創業補助金の対象者以外は、ヒアリングにより把握する必要があるが、創業者数に対して創業補助金の利用実績が少ないため、実際の創業状況が把握しきれていない可能性がある。</p> |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | ローカルスタートアップ支援事業のビジネスプランコンテストなどを通して、創業機運の醸成を図り、創業者を増やすとともに、創業支援実施時に創業補助金等の制度周知により、創業補助金の利用者を増やし、創業状況の把握を進める。 |

<主な事業とCSF>

| | | |
|---|----------------------|-----------|
| ① | 事業名：ウィメンズチャレンジプロジェクト | 事業課：協働推進課 |
|---|----------------------|-----------|

| | |
|--|---|
| 施策の概要 | 働きたい女性の自分らしい働き方へのチャレンジについて、総合的に支援を行うことを目的として、セミナー等を開催し、女性の活躍の機運を高める。 また、地域で活躍する女性のネットワークを構築し、企業、地域及び社会への女性の参画を促進する。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 女性リーダー育成事業・ロールモデル座談会：参加者42人（座談会1回・女性リーダー育成講座4回開催） <ul style="list-style-type: none"> ・ ロールモデル座談会と女性リーダー育成事業を連携した講座として開催 ○ 女性のためのチャレンジ相談会：参加者10人（12回開催） |
| 目標達成への課題 （目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など） | <p>令和6年度は、例年多くの方が参加していた「ゆーあいフェスタ」を開催しなかったこともあり、全体としてはセミナー参加者数が減少した。</p> <p>一方、起業や再就職、キャリアアップ等を目指す女性を対象とした「女性のためのチャレンジ相談会」への参加者数は、昨年度と比べ増加しており、自分らしく働こうという気運は維持できていると考えている。また、そのような女性への支援ともなる事業として実施したロールモデル座談会や女性リーダー育成講座は、女性活躍の推進において実効性のあるものと考えている。</p> |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | <p>今後も、適宜内容を変化させながら、引き続き座談会や講座、相談会等による起業支援、再就職支援等を行っていくとともに、地域社会で女性のキャリア支援等を行うため、メンターバンクの創設に取り組んでいく。</p> <p>「ゆーあいフェスタ」のような多数の参加が見込める事業の実施を予定していないため、目標値の達成は難しいところだが、今後も積極的かつ継続的な情報発信を行い、参加率の維持・向上に努めていく。</p> |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|----------|----------|-------|---------|----|
| CSF | セミナー参加者数 | 705人/年 | 52人/年 | 750人/年 | △ |

| | | |
|---|-------------------|-----------|
| ② | 事業名：空き店舗活性化事業への支援 | 事業課：産業観光課 |
|---|-------------------|-----------|

| | |
|--|---|
| 施策の概要 | 商店会活動への支援及び地域経済の活性化のため、空き店舗等を活用した事業の推進を図る。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 商店会に対して、空き店舗を活用した東京都の補助制度を案内 ○ 武蔵村山市空き店舗活用補助金を創設し、空き店舗の登録が1件あったものの、活用希望は0件 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 空き店舗物件の登録が少なく、活用希望者が見つからない。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 事業の周知を引き続き行っていく。また、事業実績を踏まえて、商店街以外の地域における空き店舗の活用についても検討を進めていく。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|--------------|----------|-----|---------|----|
| C S F | 空き店舗を活用した事業数 | 0事業 | 0事業 | 2事業 | △ |

(3) 産業の振興と雇用の促進

<重要業績評価指標（KPI）>

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|--------------------------|----------|----|---------|----|
| K P I | 企業誘致制度を活用した企業誘致による新規就業者数 | 0人 | 0人 | 10人 | △ |

| | |
|--|---|
| 施策の概要 | 地域産業の振興及び市民の雇用機会の拡大などを図るため、企業誘致条例に基づき、市内の工業地域に事業所を新設又は増設した企業等に対し、奨励金を交付する。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | ○ 市制度融資の連携機関へチラシを送付 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 企業誘致に関する相談はあったが、条件に合うような紹介可能な土地が不足している。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | <p>企業誘致制度の周知及び土地の空き状況を確認できる体制について検討する。</p> <p>また、多摩都市モノレール沿線まちづくりの進捗に応じて、企業誘致の対象業種及び対象地域の拡大について検討を行う。</p> |

<主な事業とCSF>

| | | |
|---|-----------------|-----------|
| ① | 事業名：産業振興ビジョンの策定 | 事業課：産業観光課 |
|---|-----------------|-----------|

| | |
|--|--|
| 施策の概要 | 市内全体の産業振興や近隣自治体と連携した振興策、市内事業者の市外への流出抑止策等の検討を行った上で、それらを計画的に進めるため、産業振興ビジョンを策定する。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | ○ 産業振興ビジョンに掲載している各種施策を推進 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 産業振興ビジョンに掲げる将来像「市民と事業者が絆をつむぐ にぎわいのあるまち むさしむらやま」の実現に向け、各種施策を実施していく。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 各種施策の実施状況を評価・検証する。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|-------------|----------|----|---------|----|
| CSF | 産業振興ビジョンの策定 | 未策定 | 推進 | 策定 | ◎ |

| | | |
|---|------------------------|-----------------|
| ② | 事業名：企業誘致制度の拡充（新青梅街道沿道） | 事業課：産業観光課、都市計画課 |
|---|------------------------|-----------------|

| | |
|--|--|
| 施策の概要 | 拡幅整備が進行中の新青梅街道沿道への企業誘致制度の拡充について、対象地域の都市計画を踏まえながら検討を進める。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | ○ 対象業種及び対象地域の拡大を、多摩都市モノレール延伸計画の進捗に応じて検討 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 都市計画との整合性を踏まえた、対象地域及び対象業種の拡大範囲を決定する必要がある。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 企業誘致の対象地域及び対象業種の拡大に向け、都市計画変更の検討状況など多摩都市モノレール沿線まちづくりの進捗を踏まえつつ検討を行う。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|-------------|----------|----|---------|----|
| CSF | 企業誘致制度の対象拡大 | 検討 | 検討 | 検討終了 | △ |

| | | |
|---|---------------------|------------------------|
| ③ | 事業名：工業地域における道路整備の推進 | 事業課：産業観光課、都市計画課、道路下水道課 |
|---|---------------------|------------------------|

| | |
|--|--|
| 施策の概要 | 地域経済の活性化と市民の雇用機会の拡大を図るため、伊奈平地区の工業地域の基盤整備を進め、企業誘致の促進を図る。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | <ul style="list-style-type: none"> 立地適正化計画を検討する中で、工業地域の土地利用の状況や、人口密度、工場の立地状況などの現況を把握 東京都企業立地相談センターホームページに奨励金制度を掲載 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | <p>本地区は住工が混在した複合地区であるため、地区内の道路整備に当たっては、武蔵村山市まちづくり条例に基づく地区まちづくり計画や地区計画制度を活用した手法が有効的であるが、いずれも市民や事業者等と協働で整備内容等について検討を行う必要がある。</p> <p>伊奈平地区の基盤整備の促進を目標としているが、既存道路の拡幅や整備を行うには多くの時間、予算及びマンパワーを要する。</p> |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | <p>工業地域の現況を踏まえ、今後、地区計画や地区まちづくり協議会によるまちづくり計画等の策定、大型車の通行を考慮した道路基盤整備などについて検討を行う。</p> <p>また、令和7年度以降も引き続き、工業地域の企業誘致を図る。</p> |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|-------|----------|----|---------|----|
| C S F | 事業の推進 | 未実施 | 検討 | 検討 | ◎ |

| | | |
|---|----------------|-----------|
| ④ | 事業名：地域ブランド認証事業 | 事業課：産業観光課 |
|---|----------------|-----------|

| | |
|--|---|
| 施策の概要 | 本市の地域ブランドとして、市内の魅力ある商品等を認証し、広く他の地域に発信するとともに、地域ブランドに誰もがわかりやすいコンセプトを持たせ、より明確なイメージ作りを推進し、本市の活性化と魅力の向上を図る。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | <ul style="list-style-type: none"> 事業及び認証商品について、市ホームページや市報等により広報活動を実施 申請意向のある事業者と調整し、令和6年10月に新たに1件を認証 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 認証ブランドになったことによるメリットが少ないため、認証されたことによる優位性等を明確にする必要がある。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 収納課で実施する国民健康保険税口座振替キャンペーンにおいて、地域ブランドと引き換えできる商品券を発行する。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|-----------|----------|-------|---------|----|
| C S F | ブランド認証商品数 | 11 品目 | 10 品目 | 15 品目 | △ |

| | | |
|---|--------------|-----------|
| ⑤ | 事業名：村山大島紬の振興 | 事業課：産業観光課 |
|---|--------------|-----------|

| | |
|--|---|
| 施策の概要 | 伝統的工芸品産業である村山大島紬の周知に努めるとともに、村山織物協同組合が行う宣伝活動事業や後継者育成への取組について支援を行い、少数化した生産者への直接支援について検討を行う。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 織物協同組合が行う宣伝事業に対し補助金を交付 ○ 市ホームページにて、村山大島紬について周知 ○ 各種イベントへ出展 <ul style="list-style-type: none"> ・ 東京都伝統工芸品展 ・ 伝統的工芸品展 ・ 村山デエダラまつり 等 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | イベント等でのPR活動に加え、より効果的な宣伝活動の方法を検討する。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 引き続き村山織物協同組合が行う宣伝事業に対し補助金を交付するとともに、市ホームページ等で村山大島紬について周知を行う。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|--------------------|----------|-------|---------|----|
| C S F | 体験イベントへの参加者数及び見学者数 | 251 人 | 513 人 | 300 人 | ◎ |

(4) 時代のニーズに対応する農業の創造

<重要業績評価指標 (KPI)>

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|-----------|----------|-----|---------|----|
| K P I | 新規就農者数の累計 | 1 人 | 4 人 | 6 人 | ○ |

| | |
|--|--|
| 施策の概要 | 農業の新たな担い手を確保するとともに、農業に新規参入する農業者へ様々な支援を行うことにより、安定した農業経営と農業への定着を図る。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 認定新規就農者個別相談会を実施（令和7年度認定予定） ○ 農業経営改善支援センター運営委員会を開催 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 新規就農者が貸借する農地を確保する必要がある。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 東京都農地中間管理機構である東京都農業会議と連携を密にし、新規就農者を受け入れるべく、貸借できる農地について農業委員と連携して確保していく。 |

<主な事業とCSF>

| | | |
|---|------------|-----------|
| ① | 事業名：認定農業者数 | 事業課：産業観光課 |
|---|------------|-----------|

| | |
|--|---|
| 施策の概要 | 農業の中心的な担い手となる認定農業者について、メリットを明確にし、農業委員会や各種関係団体を通して制度の普及を推進することにより、認定農業者の拡充を図るとともに、認定農業者の経営改善計画の達成に向け、農産物の増産や施設整備等に対する支援を行う。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 農業経営改善計画に係る個別相談会：新規認定申請者2件（広域認定申請者1件含む）、更新認定申請者9件 ○ 農業経営改善計画支援センター運営委員会を開催 |
| 目標達成への課題 （目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など） | 近年、認定農業者自身の高齢化や機械、資材等の必要経費の増加に伴い、更新を断念する認定農業者が増えつつある。今後は、認定農業者に準ずる農業者に対し、制度の周知や理解を求めていく方策を検討することが課題である。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 引き続き、農業経営改善計画に係る個別相談会を実施するとともに、農業経営改善計画支援センター運営委員会を開催する中で、認定農業者の拡充に努める。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|--------|----------|--------|---------|----|
| CSF | 認定農業者数 | 39 経営体 | 44 経営体 | 45 経営体 | ○ |

| | | |
|---|-------------|-----------|
| ② | 事業名：観光農園の充実 | 事業課：産業観光課 |
|---|-------------|-----------|

| | |
|--|---|
| 施策の概要 | みかん狩り等を行うことができる観光農園について、広報紙や市ホームページを活用した情報発信を行うとともに、「観光農園からかたくりの湯へ」といった観光案内もあわせて発信することにより、近郊からの来訪者の増加を図る。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | ○ 市ホームページによる情報発信や案内チラシの配布等により、みかん狩りのPRを実施 |
| 目標達成への課題 （目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など） | 農園経営者の高齢化により、経営の継続が年々困難となっている。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 市ホームページでの情報発信や案内チラシの配布等のほか、観光マップなど各種媒体を活用して、観光農園を積極的にPRする。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|-------|----------|-------|---------|----|
| CSF | 観光農園数 | 10 か所 | 10 か所 | 11 か所 | △ |

| | | |
|---|----------------|-----------|
| ③ | 事業名：体験型市民農園の開設 | 事業課：産業観光課 |
|---|----------------|-----------|

| | |
|--|---|
| 施策の概要 | 市民が農業にふれあう機会の創出と良好な都市農地の保全を図るため、農作業の未経験な市民でも気軽に農業体験ができるよう、農園主が自ら農作業の指導を行う体験型市民農園の拡充を図る。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | ○ 新規開設を検討する農業者と相談を実施 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 体験型市民農園の整備及び運営に係る費用負担が高額である。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 令和7年度末に1園が開設予定であるため、東京都及び市の補助事業の円滑な執行に努め、農業者を支援していく。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|----------|----------|------|---------|----|
| C S F | 体験型市民農園数 | 2 か所 | 2 か所 | 3 か所 | △ |

| | | |
|---|----------------|-----------|
| ④ | 事業名：援農ボランティア制度 | 事業課：産業観光課 |
|---|----------------|-----------|

| | |
|--|--|
| 施策の概要 | 農作業を通じて市民が農業にふれあう機会を創出するため、また、人手が不足している農業者を支援するため、援農ボランティア制度により農作業の効率化を図る。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | ○ 援農ボランティア新規登録：0名 ○ 農業者へ派遣：2名 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 援農ボランティア登録者の高齢化により、登録者数が減少傾向にあり、新たな派遣が困難となっている。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 市報及び市ホームページでの援農ボランティアの募集に加えて、新たな募集方法を検討し、登録者数の増加に取り組む。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|---------------|----------|------|---------|----|
| C S F | 援農ボランティアの登録者数 | 13 人 | 15 人 | 25 人 | ○ |

(5) 個性豊かな観光施策の推進

<重要業績評価指標（KPI）>

| KPI-CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|-------------------|------------|------|------------|----|
| KPI | 村山温泉「かたくりの湯」の入場者数 | 158,958人/年 | 0人/年 | 203,000人/年 | △ |

| | |
|--|---|
| 施策の概要 | 温泉資源を活用することにより、市民の健康を維持増進するとともに、多世代間の交流を促進し、併せて観光の振興を図り、もっていきいきとした地域社会の形成に資する。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 指定管理者の公募に対して3団体から応募があり、12月に指定管理者を指定 ○ 改修工事については、2月に請負契約を締結 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 指定管理者の指定期間は令和8年1月からであり、運営再開後の期間が短いことから、令和7年度中の目標達成は困難な状況である。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 新たな指定管理者と連携し、魅力ある村山温泉「かたくりの湯」を広くPRしていく。 |

<主な事業とCSF>

| | | |
|---|---------------------------------|-----------|
| ① | 事業名：村山温泉「かたくりの湯」周辺を核とした交流エリアの形成 | 事業課：産業観光課 |
|---|---------------------------------|-----------|

| | |
|--|--|
| 施策の概要 | 村山温泉「かたくりの湯」を核とする狭山丘陵を散策し、温泉につかり、地元産の食材を使った食事を楽しみながら交流を図れるような観光ルートを設定する。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 既存の観光ルートのPR |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 村山温泉「かたくりの湯」が一時閉館中のため、当該施設を核とした観光施策の展開が困難である。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 令和7年度中に村山温泉「かたくりの湯」の運営再開を目指しているため、それに合わせた検討を行う。 |

| KPI-CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|----------------|----------|------|---------|----|
| CSF | 観光ルート（広域含む）の設定 | 未設定 | 2ルート | 5ルート | ○ |

| | | |
|---|--------------|-----------|
| ② | 事業名：観光マップの作成 | 事業課：産業観光課 |
|---|--------------|-----------|

| | |
|--|---|
| 施策の概要 | 当市に訪する外国人向けに多言語化した観光マップを作成し、外国人にも当市の魅力を発信する。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | ○ 観光まちづくり協会にて英語を併記した観光マップを作成し、各種イベント等にて来場者へ配布 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 令和5年度から市の観光スポットであったひまわりガーデンが閉園し、村山温泉「かたくりの湯」が一時閉館となったため、観光施策は変革期となっている。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 村山温泉「かたくりの湯」の運営再開に合わせて、より一層魅力的な多言語化した観光マップを作成し、外国人にも当市の魅力を発信する。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|------------|----------|----|---------|----|
| C S F | 観光マップの多言語化 | 未実施 | 実施 | 実施 | ◎ |

| | | |
|---|--------------------|-----------|
| ③ | 事業名：武蔵村山魅力マイスターの活動 | 事業課：産業観光課 |
|---|--------------------|-----------|

| | |
|--|---|
| 施策の概要 | 観光資源の効果的な周知を図るため、「武蔵村山魅力マイスター」(本市の魅力を伝える技をもつ匠や伝承する力をもつ人)による体験の提供機会を増やし、「武蔵村山魅力教え隊」の活用とあわせて活動の促進を図る。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | ○ 武蔵村山観光まちづくり協会へ事務移管 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 新たな「武蔵村山魅力マイスター」の発掘が課題となっている。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 観光まちづくり協会と連携し、登録者数の増加に努める。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|------|----------|------|---------|----|
| C S F | 登録人数 | 25 人 | 18 人 | 35 人 | △ |

| | | |
|---|----------------|-----------|
| ④ | 事業名：ロケーションサービス | 事業課：産業観光課 |
|---|----------------|-----------|

| | |
|--|---|
| 施策の概要 | 本市の魅力を広く発信することによって多くの人に訪れてもらうために、「武蔵村山観光まちづくり協会」により、映画等の撮影場所の誘致や撮影支援を行うロケーションサービスを実施する。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | ○ 公共施設の貸出等が円滑に行えるよう調整を実施 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 武蔵村山観光まちづくり協会を通さずに映画等の撮影場所を確保するケースがあるため、撮影場所として活用されている施設と連携を図る必要がある。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 武蔵村山観光まちづくり協会によるロケーションサービスを周知するとともに、映画等の撮影場所として活用されている施設と協会が連携を図れるよう支援していく。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|------|----------|------|---------|----|
| C S F | 受入件数 | 未実施 | 14 件 | 50 件 | ○ |

| | | |
|---|--------------------|-----------|
| ⑤ | 事業名：文化財の観光資源としての活用 | 事業課：文化振興課 |
|---|--------------------|-----------|

| | |
|--|--|
| 施策の概要 | 歴史のある神社仏閣などの文化財を観光資源として活用するため、引き続き、文化財を巡る歴史の散策コース周知に努めるとともに、市民参加型でのテーマ別のコース設定などの検討を行い、市内への来訪者の増加を図る。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | ○ ガイドマップ『むさしむらやま歴史散策コース』を頒布 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 引き続き、歴史散策コースに係る案内標柱の維持管理を行うとともに、ガイドマップ『むさしむらやま歴史散策コース』の頒布や各種事業を通じて歴史散策コースの周知を図っていく。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | ガイドマップ『むさしむらやま歴史散策コース』の頒布や各種事業を活用し、新たなコースを含めた歴史散策コースの周知等により、文化財の保護とともに市内来訪者の増加を図っていく。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|-------------------|----------|-------|---------|----|
| C S F | 市民参加による歴史散策コースの設定 | 2 コース | 7 コース | 4 コース | ◎ |

| | | |
|---|-------------------------|-----------|
| ⑥ | 事業名：市民まつり（村山デエダラまつり）の開催 | 事業課：産業観光課 |
|---|-------------------------|-----------|

| | |
|--|---|
| 施策の概要 | 市と市民の協働により実施する市民まつりを市と共に主催する武蔵村山市民まつり実行委員会に対し交付金を交付することにより、市民まつりの充実を図り、もって地域の活性化に資する。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 武蔵村山市民まつり実行委員会に交付金を交付 ○ 令和6年11月9日、10日に第16回村山デエダラまつりを開催 |
| 目標達成への課題 （目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など） | 会場の規模が従前よりも縮小されたことなどから、来場者数が減少している。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 他のイベントとの連携も視野に入れつつ内容の充実を図り、持続可能な市民まつりを目指していく。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|------|------------|------------|------------|----|
| C S F | 来場者数 | 70,000 人/年 | 43,196 人/年 | 80,000 人/年 | △ |

| | | |
|---|-------------------|-----------|
| ⑦ | 事業名：観光納涼花火大会の開催支援 | 事業課：産業観光課 |
|---|-------------------|-----------|

| | |
|--|---|
| 施策の概要 | 武蔵村山市商工会が開催する観光納涼花火大会に対し観光納涼花火大会交付金を交付することにより、その充実を図り、もって観光事業の振興に寄与する。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 補助金を交付 ○ 令和6年8月24日に花火大会を開催 |
| 目標達成への課題 （目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など） | 開催経費の増嵩や猛暑、ゲリラ豪雨への対応など、観光納涼花火大会の安定的開催に向けた課題は多い。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 今後も観光納涼花火大会交付金を交付し、その充実を図り、もって観光事業の振興に寄与していく。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|--------|------------|-----------|------------|----|
| C S F | 会場来場者数 | 14,000 人/年 | 9,200 人/年 | 15,000 人/年 | △ |

(6) 利便性の高い公共交通網の形成

<重要業績評価指標（KPI）>

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|------------------------------|----------|---------|---------|----|
| KPI | 市内循環バス「MMシャトル」路線の1便当たり平均輸送人員 | 5.61人/年 | 5.84人/年 | 6.11人/年 | ○ |

| | |
|--|---|
| 施策の概要 | 公共交通の利便性向上の取組として、路線バスの充実について関係事業者に要請する。 また、まちづくりの整備状況や利用者の声を勘案しながら、関係機関と連携し効率的な運行と利用促進を図る。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | ○ 運行事業者との協議調整 ○ 利用促進PR（市報への定期掲載による利用促進PR・デエダラまつりでの周知啓発） |
| 目標達成への課題 （目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など） | 今後、利用者数を増加させるにあたっては、地域公共交通計画に掲げる施策・事業の実施により、地域公共交通の利用を促進することが重要である。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 過度に自動車に頼ることのない意識改革を行うことが重要であるとの認識の下、地域の実情に即した輸送サービスの実現に向けて地域公共交通計画を策定・具体化し、「MMシャトル」の利用増進を図る。 |

<主な事業とCSF>

| | | |
|---|-----------------------|-------------------|
| ① | 事業名：多摩都市モノレールの市内延伸の促進 | 事業課：交通企画・モノレール推進課 |
|---|-----------------------|-------------------|

| | |
|--|---|
| 施策の概要 | 多摩都市モノレールの市内延伸の早期実現に向けて、東大和市及び瑞穂町と共同で策定した「モノレール沿線まちづくり構想」を踏まえたまちづくりを推進するとともに、市と市民が連携した促進活動や東京都などの関係機関への要望活動を行う。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | ○ 要望活動の実施（多摩地域都市モノレール等建設促進協議会） ○ 多摩都市モノレール基金積立及び募金活動 ○ PR推進事業（情報誌の発行、モノレール関連物品作製・販売） ○ 多摩都市モノレール延伸に関する都市計画決定の周知 ○ 沿線市町との情報共有・意見交換 |
| 目標達成への課題 （目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など） | 多摩都市モノレール延伸に関する都市計画決定を受け、更に、多摩都市モノレール延伸の早期実現や今後のまちづくりに対する意識・機運を高めるための取組を図る。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 多摩都市モノレール延伸の早期実現や今後のまちづくりに対する意識・機運を高めるための取組として、将来の担い手となる子どもと共に事業に取り組む。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|-------|----------|----|---------|----|
| CSF | 事業の推進 | 推進 | 推進 | 推進 | ◎ |

(7) にぎわいと活力のある魅力的なまち・まちづくり

<重要業績評価指標（KPI）>

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|-------------------------------------|----------|------|---------|----|
| KPI | 都市核地区土地区画整理事業施行地区内の新青梅街道 拡幅用地の確保 | 90% | 100% | 100% | ◎ |

| | |
|--|---|
| 施策の概要 | 将来の商業核の形成を誘導するべく、住工の混在をできるだけ解消し、良好な住宅地の形成と魅力あるまちの実現を目指して、都市核地区土地区画整理事業を推進しており、事業区域内の多摩都市モノレールの導入区間となる新青梅街道の拡幅用地確保を実施している。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | ○ 道路拡幅用地について、維持管理を実施（令和3年度に確保済み） |
| 目標達成への課題 （目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など） | 権利者へ固定資産税及び都市計画税率の上昇や清算金（徴収）について分かりやすく丁寧に説明し、税関係について御理解をいただき、引き続き事業への御協力をお願いしていく。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 土地区画整理事業は、多摩都市モノレールの延伸に先駆けて実施している事業のため、早急に事業を完了させることが責務である。このため、物件補償、街道路路工事等の早期完了及び仮換地の指定率の向上を図る。 |

<主な事業とCSF>

| | | |
|---|-----------------------------------|-----------|
| ① | 事業名：新青梅街道沿道の用途地域等の変更及び地区計画の 策定 | 事業課：都市計画課 |
|---|-----------------------------------|-----------|

| | |
|--|--|
| 施策の概要 | 新青梅街道沿道の特性に応じた計画的な土地利用の誘導を図るため、「新青梅街道沿道地区まちづくり計画」に基づき、拡幅整備の実施と合わせて、新青梅街道沿道の用途地域等の変更及び地区計画の策定を行う。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | ○ 多摩都市モノレール延伸計画（箱根ヶ崎方面）の公表を受け、第2ステップとして多摩都市モノレールの延伸後を見据えた沿線及び新駅周辺のまちづくりを進めていくため、新駅周辺や沿線の将来像を定めた「多摩都市モノレール沿線まちづくり方針」を策定 （令和3年度末時点で目標値達成済み） |
| 目標達成への課題 （目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など） | 第2ステップとして、多摩都市モノレールの延伸後を見据えたまちづくりを進めていく。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 多摩都市モノレール延伸後を見据えて、多摩都市モノレール沿線のまちづくりを進めていく。 沿線のまちづくりについては、「多摩都市モノレール沿線まちづくり方針」等を参考にしながら、住民や事業者、土地の所有者等で構成する「まちづくり協議会」の中で、新駅周辺の望ましい土地利用のあり方等について検討していく。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|------------------------|----------|----|---------|----|
| CSF | 新青梅街道沿道地区における地区計画の策定件数 | 1件 | 4件 | 4件 | ◎ |

| | | |
|---|--------------------------|-----------|
| ② | 事業名：立川都市計画道路3・4・39号線整備事業 | 事業課：都市計画課 |
|---|--------------------------|-----------|

| | |
|--|--|
| 施策の概要 | 三本複交差点の南側約400mの区間は、休日を中心に慢性的な渋滞が生じており、今後、土地区画整理事業の進捗などにより、交通量の増加が見込まれていることから、既存道路を拡幅整備し、交通の円滑化や歩行者等の安全性の向上を図る。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 用地の折衝 ○ 用地の取得及び物件補償の契約 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 用地取得に時間を要する土地があるため、目標値を達成することが困難な状況である。事業期間も令和8年度末で終了することから、事業期間の延長についても東京都と協議が必要である。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | <p>令和7年度は用地取得を主軸にし、個別に調整が必要な案件等用地取得の際の課題となっている事項について、課題解決に向けた施策を実施する。</p> <p>また、東京都と連携を図りながら、事業延長について必要な調整を行う。</p> |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|------|----------|----|---------|----|
| CSF | 拡幅整備 | 推進 | 推進 | 工事着工 | ○ |

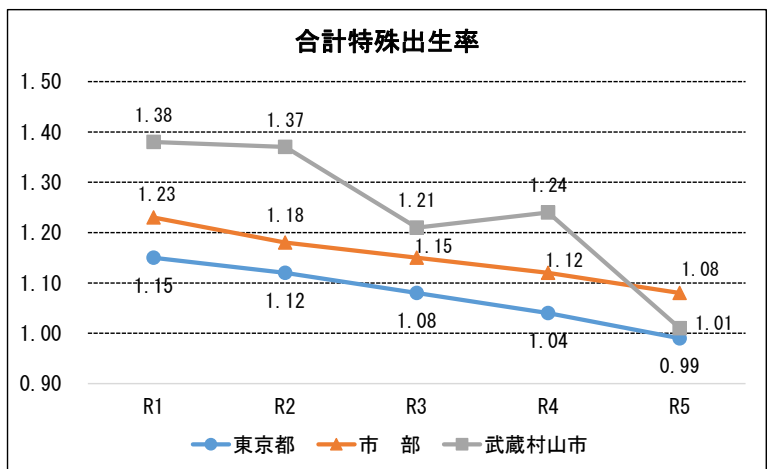
基本目標2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標

| 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------------------------------------|----------|---------|---------|----|
| 合計特殊出生率 | 1.55 | 1.01(※) | 1.60 | △ |
| 「武蔵村山市は安心して子どもを産み育てることができるまちだと思う」人の割合 | 72.1% | 調査未実施 | 80%以上 | — |

※ 合計特殊出生率については、例年、冬頃、区市町村別の数値が公表される。そのため、実績値は前年の数値である。

| |
|---|
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など) |
| 令和5年度調査時点において、目標値に達していないことから、令和7年3月に策定した「武蔵村山市子ども計画」に基づき各事業に着実に取り組む必要がある。 |
| 課題を踏まえた令和7年度以降の主な取組等 |
| 武蔵村山市子ども計画に基づく各事業について、PDCAサイクルにより定期的に進捗状況の確認、点検、評価を通じて計画の推進を目指す。 |



具体的施策

(1) 結婚・妊娠・出産・子育てへの支援

<重要業績評価指標（KPI）>

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|---------------|----------|-----|---------|----|
| KPI | 認可保育所の入所待機児童数 | 39 人 | 4 人 | 0 人 | ○ |

| | |
|--|---|
| 施策の概要 | 保育所の建て替え・改修時期等に合わせた保育所の定員枠の拡大や保育所定員の弾力的な運用を推進するとともに、保育士資格取得に係る費用の補助や保育士宿舍借上補助など保育士の確保対策を行い、認可保育所の入所待機児童の解消を図る。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 保育所に弾力的な運用による受入れ態勢の確保を要請 ○ 保育士を確保するため、保育士の処遇改善や宿舍借上補助を実施 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 歳児により空きのある保育所があるものの、希望の1園のみを申請する保護者に対し、複数の希望園を申請するよう強要はできない。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | <p>市内保育所では深刻な保育士不足が続いており、新卒、中途採用とも応募がない状況が続いている。</p> <p>このことから、令和7年度は新規事業として、市内大型商業施設において「保育士就職相談会」を実施し、保育士の確保に繋げ待機児童解消を図る。</p> |

<主な事業とCSF>

| | | |
|---|-------------|------------|
| ① | 事業名：地域型保育事業 | 事業課：子ども育成課 |
|---|-------------|------------|

| | |
|--|--|
| 施策の概要 | 少人数の単位での保育事業を可能とする地域型保育事業（3歳未満児を対象とする小規模保育・家庭的保育・事業所内保育及び居宅訪問型保育事業）の活用について、検討を行い、事業実施を目指す。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | ○ 小規模保育事業所「大南つぼみ保育園」で事業実施 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 入所児童が、満3歳となり小規模保育所から卒園した後も引き続き、同法人の連携施設である育成会ひまわり保育園及びめぐみ保育園へ継続入所できるよう注視していく。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 少人数ならではの園児一人一人に向き合った保育ができるため、その利点をアピールしていく。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|--------|----------|------|---------|----|
| CSF | 実施事業所数 | 未実施 | 1 か所 | 1 か所 | ◎ |

| | | |
|---|-------------|------------|
| ② | 事業名：延長保育の充実 | 事業課：子ども育成課 |
|---|-------------|------------|

| | |
|--|--|
| 施策の概要 | 保育所において、通常の利用時間以外の時間に保育を実施する延長保育について、充実を図り、多様な子育て支援サービスの提供体制を整備する。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | ○ 保育所 11 か所で実施 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 未実施の保育所については、法人の子育てに対する強い理念（地域、家庭、保育園で育てる）があるため、強制ができない状況である。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 延長保育事業を実施している保育所は 11 か所であるものの、延長保育事業をさらに求めるような保護者からの意見がないことから、ある程度、延長保育事業の需要は賄えていると考えている。 今後も引き続き利用児童数の動向を注視していく。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|-------------|----------|-------|---------|----|
| C S F | 延長保育の実施保育所数 | 11 か所 | 11 か所 | 13 か所 | △ |

| | | |
|---|------------|------------|
| ③ | 事業名：休日保育事業 | 事業課：子ども育成課 |
|---|------------|------------|

| | |
|--|--|
| 施策の概要 | 保護者の就労等により、日曜日や祝日の日中に家庭での保育に欠ける場合、保育を実施することにより、多様な子育て支援サービスの提供体制を整備する。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | ○ 令和6年度から小規模保育事業所大南つばみ保育園で事業を開始（登録者数：5人、利用実績：2人） |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 実施施設が変更となったが、利用実績に大きな変化がなかったため、目標を超える施設数の整備は難しい。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 利用が増えるよう、引き続き窓口や市ホームページ等で周知を行う。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|------------------------|----------|------|---------|----|
| C S F | 休日保育の実施保育所数(日曜日・祝日の保育) | 未実施 | 1 か所 | 1 か所 | ◎ |

| | | |
|---|------------|---------------|
| ④ | 事業名：病児保育事業 | 事業課：子ども子育て支援課 |
|---|------------|---------------|

| | |
|--|--|
| 施策の概要 | 病中又は病気の回復期にあつて保育を受けることが困難な期間にある児童を一時的に預かり、児童の健全な育成及び資質の向上と、保護者の子育てを支援する。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 感染症対策を行い、利用形態を維持 ○ 利用申込み方法をWEB予約に変更し、利用しやすい環境に改善 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 病児保育事業については、その時期の感染症、その他の疾病のり患状況等により、利用対象者が大きく変動する傾向があり、強ちに周知を進めたとしても、必ずしも利用者数の増加につながるわけではないものの、引き続き病児保育に係る周知に努める。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 保護者の子育て支援を推進するため、幅広い周知及びPRに努める。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|--------|----------|---------|---------|----|
| CSF | 延べ利用者数 | 234 件/年 | 411 件/年 | 550 件/年 | ○ |

| | | |
|---|------------------------------|---------------|
| ⑤ | 事業名：子育て世代包括支援センター（ハグはぐ・むらやま） | 事業課：子ども子育て支援課 |
|---|------------------------------|---------------|

| | |
|--|--|
| 施策の概要 | 母子健康手帳交付時に、保健師が全ての妊婦の面接を実施し、妊婦の実情を把握した上で、要支援者に対しては支援プランを作成する。また、妊娠・出産・子育てに関する各種の相談に応じ、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を提供する。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | ○ 妊娠期からの様々なニーズに対する総合的な相談支援を提供するため、ワンストップ拠点としての子育て世代包括支援センターを運営 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 今後とも妊娠期からの様々なニーズに応えるため、子育て世代包括支援センターの周知に努める。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 引き続き、妊娠期からの様々なニーズに対する総合的な相談支援を提供するため、ワンストップ拠点としての子育て世代包括支援センターの運営を行う。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|------------------------|----------|------|---------|----|
| CSF | 保健師等による全ての子育て家庭に対する面談率 | 100% | 100% | 100% | ◎ |

| | | |
|---|-------------------|-----------|
| ⑥ | 事業名：予防接種情報システムの運用 | 事業課：健康推進課 |
|---|-------------------|-----------|

| | |
|--|---|
| 施策の概要 | 乳幼児が安全かつ確実に予防接種を接種できるよう、予防接種スケジュールを自動的に作成し、お知らせする予防接種情報システムを運用する。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「子ども・子育て応援ナビ（アプリ）」の周知 ・ チラシ配布（母子健康手帳交付時、妊産婦・新生児訪問、3～4か月児健診） ・ 初めて予防接種予診票（生後2か月対象）を送付する際にチラシを同封 ・ 保健事業予定表（3月に全戸配布）に掲載 |
| 目標達成への課題 （目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など） | <p>導入から複数年が経過し、全体の登録者数は増加している。</p> <p>令和2年度にモバイルからアプリへ変更となり利便性は増したと考えるので、改めて周知方法を子ども子育て支援課と調整を図りながら検討していく。</p> |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 今後、国において乳幼児の定期予防接種予診票のデジタル化も推進していることから、母子健康手帳交付時、妊産婦・新生児訪問の際や初めて予防接種予診票（生後2か月対象）を送付する際に案内チラシを同封するほか、転入者にも周知を図る。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|------|----------|---------|---------|----|
| C S F | 登録者数 | 316 件/年 | 245 件/年 | 350 件/年 | △ |

| | | |
|---|-------------------------------|-----------|
| ⑦ | 事業名：市民、事業所におけるワーク・ライフ・バランスの推進 | 事業課：協働推進課 |
|---|-------------------------------|-----------|

| | |
|--|--|
| 施策の概要 | ワーク・ライフ・バランスに取り組む事業所をワーク・ライフ・バランス推進事業所として認定し、当該認定事業所又はその取組内容を広く紹介することにより、事業所におけるワーク・ライフ・バランスの推進を図る。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 武蔵村山市ワーク・ライフ・バランス推進事業所を認定 <p>新規認定：4 事業所 更新認定（2 回目）：6 事業所</p> |
| 目標達成への課題 （目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など） | <p>令和7年度の目標値は、令和3年度時点で達成している。</p> <p>ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定基準として定めた27の取組のうち、15以上実施していた場合に認定しており、今後も一層認定事業所を増やすため、市報や緑が丘ふれあいセンターが発行する情報誌「Y O U ・ I」への掲載、商工会を通じた市内事業所への制度の周知などを行い、もって市内事業所の意識醸成を図る。</p> |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 新規認定件数の増加及び今後認定期間が満了する既認定事業所からの更新認定申請の確保に向けて、新たにコミュニティビジョンやデジタルサイネージ等を活用した広報の実施等に取り組み、制度の周知・浸透を図る。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|------------------------|----------|------|---------|----|
| C S F | ワーク・ライフ・バランス推進事業所の認定件数 | 0 件 | 24 件 | 5 件 | ◎ |

| | | |
|---|------------------------|---------|
| ⑧ | 事業名：市役所男性職員の育児休業取得率の向上 | 事業課：職員課 |
|---|------------------------|---------|

| | |
|--|---|
| 施策の概要 | 市役所が率先して、ワーク・ライフ・バランス等の取組を推進し、男性職員の育児休業の取得促進を図る。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 新たに取得可能となった男性職員に対し、各種制度を紹介した冊子の配布・説明 ○ 育児休業の対象となる男性職員及びその所属長に対し、育児休業の提案及び個人の事情等に配慮した具体的な情報提供 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 目標を達成しているが、更なる取得率の向上に取り組む。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 前年度の取組内容を継続して行う。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|------------|----------|-------|---------|----|
| C S F | 取得率（5か年平均） | 5.5% | 53.8% | 15.0% | ◎ |

（２） 子育てしやすいまちづくり

＜重要業績評価指標（KPI）＞

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|---|----------|-------|---------|----|
| K P I | 「武蔵村山市は安心して子どもを産み育てることができるまちだと思う」就学前児童の保護者の割合 | 72.8% | 調査未実施 | 77.8% | — |

| | |
|--|---|
| 施策の概要 | 結婚から出産、子育てまでの一貫した支援を行い、さらには子育てと仕事の両立を図ることで、子どもを産み育てやすいまちづくりを目指す。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | ○ 「子ども・子育て支援事業計画」、「子どもの未来応援プラン」及び「子ども・若者計画」を一体の計画として、令和7年3月「武蔵村山市子ども計画」を策定 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 令和5年度調査時点において、実績は71.4%であり、目標値に達していないことから、令和7年3月に策定した「武蔵村山市子ども計画」に基づき各事業に着実に取り組む必要がある。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 武蔵村山市子ども計画に基づく各事業について、PDCAサイクルにより定期的に進捗状況の確認、点検、評価を通じて計画の推進を目指す。 |

<主な事業とCSF>

| | | |
|---|------------------|---------------|
| ① | 事業名：移動式赤ちゃんの駅の活用 | 事業課：子ども子育て支援課 |
|---|------------------|---------------|

| | |
|--|--|
| 施策の概要 | 市内で開催されるイベント等に対し乳幼児のおむつ交換や授乳を行うための簡易設置型授乳室を貸し出すことにより、乳幼児を抱える子育て家庭が安心して外出できる環境づくりを促進し、子育て家庭の負担の軽減を図る。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | ○ イベント時の貸出：3件 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 新型コロナウイルス感染症の5類への移行により各種イベントが回復傾向にあるが、屋内のイベントでは既存の授乳室等が完備されており、貸出しの需要が少ないのが現状である。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 引き続きホームページ等での周知を図り、子育て家庭が安心して外出できる環境づくりを促進するとともに、子育て家庭の負担の軽減を図る。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|-------------|----------|------|---------|----|
| CSF | 地域イベント等での活用 | 5件/年 | 3件/年 | 10件/年 | △ |

| | | |
|---|--------------------------------------|---------------------------|
| ② | 事業名：児童館親子ひろば事業（絵本読み聞かせ・みんなで あそぼう） | 事業課：子ども育成課（児童館）、子ども子育て支援課 |
|---|--------------------------------------|---------------------------|

| | |
|--|---|
| 施策の概要 | 児童館の午前中の比較的用户者が少ない時間帯を利用し、乳幼児及びその保護者を対象に歌遊びや絵本の読み聞かせなどを行いながら交流や子育て相談できる居場所の提供を図る。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | ○ 令和6年度からは、児童館親子ひろば事業と、他の子育て関連事業を統合し、子ども子育て支援課の所管において「健やかひろば」及び「健やかひろば（理学療法）」として市内児童館や地区会館等で実施 ○ 乳幼児及び保護者が気軽に集い、交流を図る場を提供 ○ 子育てに関する相談の受付や対応並びに子育て関連情報を提供 ○ 実施形態は、自由遊びや子育て相談ができる「通常ひろばコース」と、療育を主体とする「理学療法コース」 ・ 健やかひろば事業 実施回数：190回 参加者数：2,768人 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 読み聞かせだけでなく、運動遊び、季節のイベント、制作等、様々な遊びの提供とともに子育てに関する相談の受付並びに子育て関連情報の提供を複合的に実施しているため、読み聞かせのみの参加者数の把握は難しい。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 参加者のニーズを把握し、今後も子育て中の家庭の支援につながる事業内容を検討していく。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|--------------------|-------------------|----|-------------------|----|
| CSF | 絵本の読み聞かせ実施回数及び参加者数 | 46回/年 1,037人/年 | — | 48回/年 1,200人/年 | — |

| | | |
|---|---------------------------|---------|
| ③ | 事業名：絵本読み聞かせ事業（図書館のおはなしの会） | 事業課：図書館 |
|---|---------------------------|---------|

| | |
|--|--|
| 施策の概要 | 本に対する興味を育て、本に親しんでもらうとともに、保護者とお子さんが本を通じてコミュニケーションを図るきっかけづくりのため、絵本や紙芝居の読み聞かせのほか、手遊びなどを行っている。 |
| 令和 6 年度の 主な取組内容・実績 | ○ 絵本の読み聞かせを以下のとおり実施 <ul style="list-style-type: none"> 雷塚図書館：24 回 三ツ木地区図書館：12 回 中久保図書館：12 回 大南地区図書館：12 回 中藤地区図書館：12 回 残堀・伊奈平地区図書館：12 回 |
| 目標達成への課題 （目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など） | 開催の方法や参加者の意向などが一致していない可能性が考えられる。 |
| 課題を踏まえた 令和 7 年度以降の 主な取組等 | 開催の方法及び参加者数を増加させるための施策やその他考えられる原因について調査検討する。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|--------------------|----------------------|-------------------|----------------------|----|
| C S F | 絵本の読み聞かせ実施回数及び参加者数 | 114 回/年 1,014 人/年 | 84 回/年 597 人/年 | 120 回/年 1,200 人/年 | △ |

| | | |
|---|----------------|-----------|
| ④ | 事業名：放課後子供教室の充実 | 事業課：文化振興課 |
|---|----------------|-----------|

| | |
|--|---|
| 施策の概要 | 放課後の余裕教室等を活用し、安全・安心な子供の居場所を設け、学習やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動等の取組を推進する。 |
| 令和 6 年度の 主な取組内容・実績 | ○ 市内全小学校 9 校において、地域住民等の参加・協力を得て、子供たちの安全で健やかな居場所づくりを推進する事業を実施 |
| 目標達成への課題 （目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など） | 引き続き、全校（9 校）実施の継続に努める。 また、人材不足等が生じた際は、学校、市報、市ホームページ等を活用し人材確保に取り組む。 |
| 課題を踏まえた 令和 7 年度以降の 主な取組等 | 放課後に児童が安心・安全に過ごせる居場所を提供できるよう、安定した運営に努める。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|-------------|----------|-----|---------|----|
| C S F | 放課後子供教室実施校数 | 7 校 | 9 校 | 9 校 | ◎ |

| | | |
|---|----------------------|-----------------------|
| ⑤ | 事業名：放課後子ども総合プラン事業の推進 | 事業課：文化振興課、子ども育成課（児童館） |
|---|----------------------|-----------------------|

| | |
|--|--|
| 施策の概要 | 共働き家庭等の「小1の壁」を打破するとともに、時代を担う人材を育成するため、全就学児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、一体型を中心とした放課後子供教室及び学童クラブの計画的な整備を進める。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校6校（6か所）での実施に向けて各学童クラブと調整し、一体型イベントとして体験・活動を実施 ○ 各学童クラブに実施に向けたアンケート調査を実施 |
| 目標達成への課題 （目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など） | 令和6年度はイベントの開催もできたが、引き続き継続できるように努める。 アンケート調査等結果を踏まえて引き続き実施に向けて検討を進める。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 安定した運営を図れるよう、支援員等の確保にも努める。 一体型事業の取組について、事業実施に向けた方向性等を検討する。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|---------------------------------|----------|------|---------|----|
| C S F | 一体型の運営を行う学童クラブ及び放課後子供教室の 設置数 | 4 か所 | 6 か所 | 5 か所 | ◎ |

| | | |
|---|------------------------|------------|
| ⑥ | 事業名：子どもの未来応援プランの策定及び推進 | 事業課：子ども政策課 |
|---|------------------------|------------|

| | |
|--|---|
| 施策の概要 | 全ての子どもたちとその家庭を見守り支援する「武蔵村山市子どもの未来応援プラン」を策定し、子どもの貧困対策等を総合的に推進する。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | ○ 「子ども・子育て支援事業計画」、「子どもの未来応援プラン」及び「子ども・若者計画」を一体の計画として、令和7年3月「武蔵村山市子ども計画」を策定 |
| 目標達成への課題 （目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など） | 令和5年度調査時点において、実績は「小5：72.3%、中2：58.1%」であり、目標値に達していないことから、令和7年3月に策定した「武蔵村山市子ども計画」に基づき各事業に着実に取り組む必要がある。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 武蔵村山市子ども計画に基づく各事業について、PDCAサイクルにより定期的に進捗状況の確認、点検、評価を通じて計画の推進を目指す。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|-------------------------|----------------------|-------|----------------------|----|
| C S F | 将来のゆめが「ある」と回答した児童・生徒の割合 | 小5：77.1% 中2：57.9% | 調査未実施 | 小5：80.0% 中2：62.0% | — |

(3) 子どもの知力・体力の向上

<重要業績評価指標（KPI）>

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|----------------------|----------|-------|---------|----|
| K P I | 高校進学に際して第一志望校へ合格する割合 | 83.2% | 94.9% | 85.0% | ◎ |

| | |
|--|---|
| 施策の概要 | 児童・生徒一人一人に確かな学力を身に付けさせる基盤となる学習意欲の向上及び学習の規律の確立を図るため、指導方法や指導体制の工夫・改善に努める。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | ○ 小中一貫教育を全小・中学校で実施し、義務教育9年間を通じた系統的なキャリア教育の充実 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 年度によって生徒の実態も異なることから、継続的に目標値を達成できるようにすることが課題である。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 適宜、進路情報について、学校を通じて高校進学を希望する生徒やその保護者へ提供するとともに、調査の確度向上を図るため、進路指導主任会等において、情報の収集に努める。 |

<主な事業とCSF>

| | | |
|---|-----------|-----------|
| ① | 事業名：市学力調査 | 事業課：教育指導課 |
|---|-----------|-----------|

| | |
|--|--|
| 施策の概要 | 児童・生徒の学力向上を図るために、学力調査を実施し、結果を分析する。 分析した検証結果については、学校における事業改善の具体的手立てへとつなげていく。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | ○ 市内小学校第4～5学年及び中学校第1～2学年に対し、国語・算数・数学の学力定着状況調査及び生活・学習意欲調査を実施 ・ 調査人数：(小学校) 1,128 人 (中学校) 1,057 人 平均正答率：(小学校4年) 国語 52.8%、算数 52.0%、(小学校5年) 国語 55.7%、算数 44.8% (中学校1年) 国語 54.0%、数学 51.0%、(中学校2年) 国語 52.9%、数学 47.7% |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 分析結果から、例年生徒が苦手とする分野について把握できており、確実に身に付けるための反復学習が課題である。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 学力向上推進委員会、各職層への研修会において、学力向上について具体的な数値と取組を確認する。 定着に課題が見られた単元を集中的に学習指導、支援をする。 夏季休業中や放課後の補修学習を推奨し、学力向上を推進する。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|-------------------------------|----------|-------|---------|----|
| C S F | 中学校1年生の国語の平均正答率と全国平均正答率との相対比率 | 91.6% | 90.2% | 100% | △ |

| | | |
|---|----------|-----------|
| ② | 事業名：英語検定 | 事業課：教育指導課 |
|---|----------|-----------|

| | |
|--|--|
| 施策の概要 | 小中学校で培った英語力を測るという具体的な努力目標を持たせ、学習に対する意欲の向上と英語力の定着を図ることを目的に、中学校第3学年の希望生徒を対象として英語検定の受験に係る支援を行う。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | <ul style="list-style-type: none"> 英語検定の費用に掛かる支援：224人 令和6年度は、令和5年度と比較し受験率・合格率ともに減少 2級の合格者数は増加 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 中学校第3学年は高校受験とも重なるため、受験率を上げることが難しい。学校側のニーズを捉えた上で、本事業の周知を今後も図り、受験率の向上を図る。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 英語検定委託事業を実施し、挑戦する意欲の向上を図る。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|------------|----------|-------|---------|----|
| C S F | 中学校3年生の受験率 | 40.6% | 33.9% | 60.0% | △ |

| | | |
|---|----------------|-----------|
| ③ | 事業名：東京都統一体力テスト | 事業課：教育指導課 |
|---|----------------|-----------|

| | |
|--|---|
| 施策の概要 | 児童・生徒の体力・運動能力及び生活・運動習慣等の実態を把握・分析することにより、体力・運動能力等の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。また、学校における児童・生徒の体力・運動能力等の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | <ul style="list-style-type: none"> 市内全小・中学校で東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査を実施 <ul style="list-style-type: none"> 調査対象：市内小学校第5学年（男子 310人、女子 267人） 市内中学校第2学年（男子 214人、女子 190人） 中学校2年生の持久走は、目標値には到達していないが、男女とも都の平均以上（都の平均 男子：421.8秒、女子：314.4秒） |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 運動・スポーツの実施時間と体力合計点との関係を見ると、運動実施頻度と同様に、運動時間が長い児童・生徒ほど、体力テストの合計点も高い傾向にあるため、各学校の取組により体育・保健体育授業以外での時間における、運動実施時間を30分長くすることができるかが課題である。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 体力テストに向けた取組や各校独自の取組等を交流し、体力向上全体計画に反映させていく。その計画に基づき、体育授業の指導の工夫など、授業改善につなげ、より一層の体力向上に努める。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|---|------------------------|------------------------|--------------------|----|
| C S F | 小学校5年生のシャトルランの平均値（回数） | 男子 49.2回 女子 36.9回 | 男子 44.9回 女子 32.9回 | 男子 51回 女子 40回 | △ |
| C S F | 中学校2年生の持久走(男子 1,500m)、(女子 1,000m)の平均値（秒数） | 男子 395.6秒 女子 295.6秒 | 男子 412.4秒 女子 309.9秒 | 男子 386秒 女子 286秒 | △ |

(4) 教育環境の整備

<重要業績評価指標（KPI）>

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|--------------------|----------|-------|---------|----|
| K P I | 不登校児童・生徒への教育相談等支援率 | 75% | 28.6% | 80% | △ |

| | |
|--|---|
| 施策の概要 | 教育相談室における相談の実施や全小中学校に配置されているスクールカウンセラーの活用など教育相談体制の充実を図るとともに、市内全小中学校で導入しているコミュニティ・スクールを活用した地域に開かれ、信頼される学校づくりなど教育環境の充実を図る。 |
| 令和 6 年度の 主な取組内容・実績 | <ul style="list-style-type: none"> ○ スクールソーシャルワーカーの活用 ○ スクールカウンセラーの活用 ○ 心理相談員と学習支援員による家庭訪問 <p>※ K P I の数値は、不登校児童・生徒を教育指導課が所管する教育相談等で支援した割合であり、児童相談所、子ども家庭支援センター、医療機関等での支援は除いている。</p> <p>また、過去に支援を行った結果、他の支援につながった児童・生徒数も除いている。</p> |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 不登校の原因である学業不振や人間関係の課題を解決するための授業改善や特別支援教育の推進を図り、学校の不登校への意識を向上させること。 |
| 課題を踏まえた 令和 7 年度以降の 主な取組等 | <p>学校と家庭間で連絡を取ることができない状況にある不登校児童・生徒について、スクールソーシャルワーカーが民生・児童委員等と連携を図り、地域住民からの情報を有効に活用しながら、当該児童・生徒と保護者への対応を図る。</p> <p>また、保護司会や民生・児童委員に対して、スクールソーシャルワーカーの役割などについての理解啓発を行い、相互連携の強化を図る機会をつくる。</p> |

<主な事業とCSF>

| | | |
|---|-----------------------------|-----------|
| ① | 事業名：教育相談室事業・スクールソーシャルワーカー事業 | 事業課：教育指導課 |
|---|-----------------------------|-----------|

| | |
|--|--|
| 施策の概要 | 学校だけでは解決しない小・中学生の不登校、暴力・非行行為等の解決を図るため、臨床心理士、スクールソーシャルワーカー等が相談に応じるとともに、社会福祉の面から児童・生徒が置かれた環境へ働き掛けるなど関係機関とのネットワークを活用した支援を行う。 |
| 令和 6 年度の 主な取組内容・実績 | <ul style="list-style-type: none"> ○ スクールソーシャルワーカーの活用 ○ 心理相談員と学習支援員による家庭訪問 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 不登校の原因である学業不振や人間関係の課題を解決するための授業改善や特別支援教育の推進を図り、学校の不登校への意識を向上させること。 |
| 課題を踏まえた 令和 7 年度以降の 主な取組等 | <p>学校と家庭間で連絡を取ることができない状況にある不登校の児童・生徒についてスクールソーシャルワーカーが民生・児童委員等と連携を図り、地域住民からの情報を有効に活用しながら、当該児童・生徒と保護者への対応を図る。</p> <p>また、保護司会や民生・児童委員に対して、スクールソーシャルワーカーの役割などについての理解啓発を行い、相互連携の強化を図る機会をつくる。</p> |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|--------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----|
| C S F | 不登校出現率 | 小学校 0.79%/年 中学校 5.05%/年 | 小学校 2.42%/年 中学校 9.54%/年 | 小学校 0.54%/年 中学校 3.24%/年 | △ |

| | | |
|---|-------------------|-----------|
| ② | 事業名：スクールカウンセラーの設置 | 事業課：教育指導課 |
|---|-------------------|-----------|

| | |
|--|---|
| 施策の概要 | いじめ、不登校等の未然防止、改善、解決、学校内の教育相談体制等の充実を図るため、各小中学校にスクールカウンセラーを配置し、不登校児童・生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指す。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | <ul style="list-style-type: none"> ○ スクールカウンセラーの活用 ○ 心理相談員と学習支援員による家庭訪問 ○ 小学5年生及び中学1年生を対象としてスクールカウンセラーによる全員面接の実施 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | <p>不登校の原因である学業不振や人間関係の課題を解決するための授業改善や特別支援教育の推進を図り、学校の不登校への意識を向上させること。</p> <p>不登校の生徒数は増加傾向にあり、早期からの相談支援を行う必要がある。</p> |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | <p>不登校や引きこもりの未然防止に向けた支援を行うため、スクールカウンセラーが心理の専門家の立場から、児童・生徒や保護者等からの相談に対応する。</p> <p>第一中学校、第三中学校についてはスクールカウンセラーを複数配置しており、相談率の向上のために相談体制の強化を図っていく。</p> |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|--------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----|
| CSF | 不登校出現率 | 小学校 0.79%/年 中学校 5.05%/年 | 小学校 2.42%/年 中学校 9.54%/年 | 小学校 0.54%/年 中学校 3.24%/年 | △ |

基本目標3 誰もが安心して暮らし続けられる地域をつくる

数値目標

| 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|-----------------------|----------|-------|---------|----|
| これからも本市に住み続けたいと思う人の割合 | 31.1% | 34.1% | 36.1% | ○ |
| 20歳代の転出者割合 | 12.6% | 12.9% | 11.6%以下 | △ |

目標達成への課題

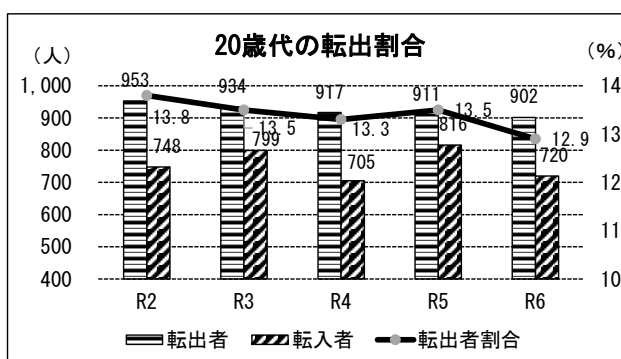
(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)

「これからも本市に住み続けたいと思う人の割合」は現況値以上であるが、目標には至っていない。人口も減少傾向にあり、魅力あるまちづくりを図るための施策が必要である。

20歳代の転出者割合は、直近5年間との比較では最も低い割合となったが、依然として転出超過の状態にある。若年層の転出抑制を図るための施策が必要である。

課題を踏まえた令和7年度以降の主な取組等

まち・ひと・しごと創生総合戦略等に基づき、若年層を中心とした人口流出を抑えるなど、令和6年度に実施した市民意識調査の結果も参考にし、効果的な施策を推進していく。



具体的施策

(1) 交通利便性や買い物環境の向上に向けたまちづくり

<重要業績評価指標（KPI）>

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|-----------------|----------|-------|---------|----|
| KPI | 公共交通の整備についての満足度 | 13.4% | 11.3% | 18.4%以上 | △ |

| | |
|--|--|
| 施策の概要 | 市内循環バス「MMシャトル」の運行や乗合タクシー「むらタク」の運行を行う。 また、利便性の向上、効率的な運行のため、公共交通のあり方について検討を行う。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域公共交通計画策定にあたり、地域公共交通協議会において、多摩都市モノレール延伸を見据えた地域公共交通の検討を行うための市民意識調査等を実施し、目標・施策等を設定 ○ 各交通事業者や関係機関との協議・検討 ○ 市内循環バス「MMシャトル」及び乗合タクシー「むらタク」の運行維持 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 自動車を含めた市内移動についての満足度は、約44%であったことから、自動車が移動手段としての役割を大きく担っていることがわかる。地域公共交通計画に掲げる施策・事業の実施により、地域公共交通の利用を促進することが重要である。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 過度に自動車に頼ることのない意識改革を行うことが重要であるとの認識のもと、地域の実情に即した輸送サービスの実現に向けて地域公共交通計画を策定し、公共交通に対する満足度の向上を図る。 |

<主な事業とCSF>

| | | |
|---|---------------------|-------------------|
| ① | 事業名：乗合タクシー「むらタク」の運行 | 事業課：交通企画・モノレール推進課 |
|---|---------------------|-------------------|

| | |
|--|--|
| 施策の概要 | 市内循環バス「MMシャトル」の利用者数が低迷していた運行ルートを廃止する代替として、市南西地域を対象とした乗合型の交通システムを導入した。 乗合タクシー「むらタク」は、利用者の自宅と市内の主要公共施設等の間を運行している。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 運行受託者との協議調整 ○ 利用促進PR（市報への定期掲載による利用促進PR・デエダラまつりでの周知啓発） |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 今後、利用者数を増加させるにあたっては、地域公共交通計画に掲げる施策・事業の実施により、地域公共交通の利用を促進することが重要である。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 地域の足として定着してきた「むらタク」については、運行业務の受託者や利用者の声を聞きながら、効率的な運行に努め、引き続き、サービス向上に努める。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|------|----------|-----------|----------|----|
| CSF | 利用者数 | 4,028人/年 | 12,494人/年 | 4,500人/年 | ◎ |

| | | |
|---|--------------|-----------|
| ② | 事業名：まいど～宅配事業 | 事業課：産業観光課 |
|---|--------------|-----------|

| | |
|--|---|
| 施策の概要 | 買い物弱者対策を目的に、商工会が実施する事業に対し、補助を実施している。 大型店と差別化を図るため、地域事業者が商品の注文配達、出張サービス時に高齢者の安否等の見守り活動を行っている。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | ○ 市内小規模事業者の育成と地域社会全般の活性化を図るため、商工会に対し補助金を交付 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 村山団地中央商店街の活性化及び事業に関する市民への周知が進んでいないことが課題である。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 引き続き商工会へ補助金を交付するとともに、事業の周知拡大を進める。 なお、村山団地建替事業による影響にも留意する。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|------|-----------|-----------|-----------|----|
| C S F | 利用者数 | 2,148 人/年 | 1,354 人/年 | 2,200 人/年 | △ |

(2) 安心して暮らせるまちづくり

<重要業績評価指標（KPI）>

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|------------------|----------|-------|---------|----|
| K P I | 停電対策用資器材の避難所への備蓄 | 未実施 | 28 か所 | 15 か所 | ◎ |

| | |
|--|---|
| 施策の概要 | 停電対策用資器材を計画的に購入し、避難所における停電対策の充実を図っていく。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | ○ 災害対策倉庫に新たに乾電池の備蓄を実施 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 令和2年度から令和3年度にかけて折り畳みソーラーパネルから充電可能な可搬型蓄電池を備蓄し、全避難所に対して停電対策用資器材の備蓄が完了、目標値を達成している。今後、更なる停電対策強化のために、停電対策用資器材の更なる充実を図っていく。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 市内の2事業者との間で災害時における給電車両（電気自動車等）の貸与に関する協定を締結しており、協定の効果的な活用観点からも、貸与を受けた車両から電力を取り出すための可搬型外部給電器の増強備蓄等を検討していく。 |

<主な事業とCSF>

| | | |
|---|-----------------|-----------|
| ① | 事業名：防災士資格取得助成事業 | 事業課：防災安全課 |
|---|-----------------|-----------|

| | |
|--|--|
| 施策の概要 | 地域防災力の向上を目的とし、自主防災組織に所属し該当団体の長から推薦を受けた者及び消防団において分団長以上の役職経験がある者を対象に防災士資格取得に係る費用を助成する。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 事業内容を精査し、資格取得を支援した防災士の活用方法を再検討 ○ 検討の結果、令和7年度からは、防災訓練参加や避難所運営への協力、市の防災計画等の策定への協力等、一定の要件を定めた上で助成対象を拡大し、一般市民も助成を受けられるよう制度を拡充 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 防災士の資格取得者数確保が課題である。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 新制度の周知を図り、地域防災のリーダーとなる防災士を養成する。 資格を得た防災士を防災訓練や避難所の開設・運営等、地域防災に積極的に活用していく。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|-----------|----------|-----|---------|----|
| CSF | 防災士資格取得者数 | 9人 | 26人 | 37人 | ○ |

| | | |
|---|-----------------|-----------|
| ② | 事業名：風水害に対する防災訓練 | 事業課：防災安全課 |
|---|-----------------|-----------|

| | |
|--|--|
| 施策の概要 | 台風や短時間豪雨による災害が、各地で頻発していることから、風水害への対応力を強化するため、災害対策本部の運営訓練や地域防災計画、災害時職員行動マニュアルなどの見直しを進める。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和3年3月に作成したマニュアルを基に、市職員を対象にした避難所開設訓練を実施 ○ 令和6年度及び7年度において、地域防災計画の改訂作業を実施 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 今後も避難所開設訓練等を定期的の実施し、非常時対応の定着を図っていく。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 令和7年度末を目途として武蔵村山市地域防災計画の改訂作業を進めており、同計画の改訂内容に沿った各種マニュアルの見直しを行うとともに、計画に基づいた避難所開設訓練も実施していく。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|-------|----------|----|---------|----|
| CSF | 訓練の実施 | 未実施 | 実施 | 実施 | ◎ |

(3) 健康でいきいきと暮らせるまちづくり

<重要業績評価指標（KPI）>

| KPI-CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|--------------------|----------|-------|---------|----|
| KPI | 市民の1年間での運動・スポーツ実施率 | 調査未実施 | 調査未実施 | 70% | — |

| | |
|--|--|
| 施策の概要 | 地域の現状や市民ニーズを的確に捉えながら、市民の主体的なスポーツ活動を総合的かつ計画的に推進する。また、スポーツ推進委員協議会等と連携し、地域における各種スポーツ・レクリエーション事業を実施し、市民の健康増進や地域の交流、地域スポーツの振興を図る。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | ○ 市主催事業を行うとともに、地域のスポーツ団体を支援することにより、市民がスポーツを行う機会を提供 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 各スポーツイベントへの参加率を高めるため、内容を充実させるとともにPR活動をより積極的に行う必要がある。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 可能な限り市民のスポーツ実施の機会を創出するとともに、環境を整備していく。 |

<主な事業とCSF>

| | | |
|---|----------|-----------|
| ① | 事業名：健康相談 | 事業課：健康推進課 |
|---|----------|-----------|

| | |
|--|--|
| 施策の概要 | 健康や栄養に関する相談を随時受け付け、健康管理について指導や助言を行う。 また、骨の状態をチェックし、その結果に基づき生活改善の相談を行う骨健康度相談を実施する。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | ○ 保健師等による随時相談：164件 ○ 骨健康度相談の開催：全5回（相談者数：75名） ○ こころの健康相談について、自殺対策庁内連絡会を実施 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 相談内容によっては、他課と連携した支援が必要な場合がある。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | こころの健康相談においては、令和5年度から自殺対策庁内連絡会を実施しており、今後、他課と連携を図る体制づくりを行っていく。 |

| KPI-CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|------|----------|--------|---------|----|
| CSF | 参加者数 | 15人/年 | 239人/年 | 120人/年 | ◎ |

| | | |
|---|----------|-----------|
| ② | 事業名：健康教室 | 事業課：健康推進課 |
|---|----------|-----------|

| | |
|--|---|
| 施策の概要 | 市民の健康増進と健康管理意識の向上を図ることを目的として、生活習慣病予防等に関する健康教室を開催する。 |
| 令和 6 年度の 主な取組内容・実績 | ○ 健康寿命をのばそう教室：36 人 ○ ヨガ体操教室：36 人 ○ 肩こり腰痛予防教室：13 人 ○ 骨粗しょう症予防教室：28 人 ○ ピラティス教室：18 人 ○ ウォーキング教室：27 人 ○ 女性のための健康教室：7 人 ※ 全教室（16 教室延べ 20 日開催）のうち 2 日は金曜日の夜間、1 日は土曜の夜間に開催 |
| 目標達成への課題 （目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など） | 健康教室参加者が固定化し、新規参加者が少ない。 |
| 課題を踏まえた 令和 7 年度以降の 主な取組等 | 引き続き夜間及び土曜日開催の教室を開催する。 各検診や市公式 LINE 等を活用し事業案内を行うなど、新規及び若年層の参加者を増やすような工夫を検討していく。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|------|----------|---------|---------|----|
| C S F | 参加者数 | 211 人/年 | 165 人/年 | 660 人/年 | △ |

| | | |
|---|----------------|-----------|
| ③ | 事業名：ゲートキーパーの養成 | 事業課：健康推進課 |
|---|----------------|-----------|

| | |
|--|---|
| 施策の概要 | 市の自殺防止対策の一環として、相手の心身の不調のサインに気づき、専門機関による相談等に繋ぐ役割を担うゲートキーパー養成講座を開催する。 |
| 令和 6 年度の 主な取組内容・実績 | ○ 職員向けにゲートキーパー養成講座を実施：参加者 47 人（2 回開催） |
| 目標達成への課題 （目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など） | 職員の中には、過去にゲートキーパー研修を受講してから期間が経っている場合がある。 |
| 課題を踏まえた 令和 7 年度以降の 主な取組等 | 職員を対象として、初級・応用編の研修を実施し、より実践的な研修内容等について検討していく。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|-------------|----------|--------|---------|----|
| C S F | ゲートキーパーの養成数 | 39 人/年 | 47 人/年 | 45 人/年 | ◎ |

| | | |
|---|-----------------------|-------------|
| ④ | 事業名：総合型地域スポーツクラブの運営支援 | 事業課：スポーツ振興課 |
|---|-----------------------|-------------|

| | |
|--|--|
| 施策の概要 | 誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも、世代を超えて各自の興味・目的に応じて気軽にスポーツを楽しめるようなスポーツ社会を実現するため、総合型地域スポーツクラブの運営を支援する。 |
| 令和 6 年度の 主な取組内容・実績 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 運営支援のための補助金を交付 ○ 活動に対する人的支援を実施 ○ 認知度向上等を目的に、市ホームページなどに活動内容や活動状況等の広報活動を実施 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | クラブの認知度向上等を目的としたPR活動を継続して実施していく。 |
| 課題を踏まえた 令和 7 年度以降の 主な取組等 | 引き続き人的支援、財政支援を行うとともに、クラブの認知度向上等を目的としたPR活動をより強化する。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|-----------------|----------|-------|---------|----|
| C S F | 総合型地域スポーツクラブ会員数 | 290 人 | 199 人 | 390 人 | △ |

| | | |
|---|------------------|-------------|
| ⑤ | 事業名：スポーツ少年団の運営支援 | 事業課：スポーツ振興課 |
|---|------------------|-------------|

| | |
|--|---|
| 施策の概要 | スポーツ少年団の理念のもと、「子供たちの健全育成」、「一人でも多くの子供たちにスポーツの喜びの提供」を目的に、登録する単位団の増加や団員数の増加を目標として活動していく。 |
| 令和 6 年度の 主な取組内容・実績 | ○ 事業運営等に関する支援 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 行政評価委員会による外部評価で、将来的に縮小・見直しの方向性が示されているため、事業のあり方等について今後検討する必要がある。 |
| 課題を踏まえた 令和 7 年度以降の 主な取組等 | 加入促進を図るため、市内の少年少女主体のスポーツ団体へ通知、説明等を行う。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|--------------|----------|------|---------|----|
| C S F | スポーツ少年団登録団体数 | 1 団体 | 3 団体 | 6 団体 | ○ |

| | | |
|---|----------------------|-----------|
| ⑥ | 事業名：お互いさまサロンの設置・運営支援 | 事業課：高齢福祉課 |
|---|----------------------|-----------|

| | |
|--|--|
| 施策の概要 | 介護予防や多世代間の交流等を目的としたお互いさまサロンづくりのため、設置・運営を行う団体に対し、財政的な支援を行っている。 また、各地域包括支援センターにおいては、地域住民に対してサロン設置・運営に係る技術的な支援を行っている。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 設置・運営を行う団体に対して、補助金を交付：41 団体 ○ お互いさまサロンの継続的な活動を支援するためポイント付与による交付金制度を実施：55 団体 ○ サロン立ち上げの支援や活動内容のアドバイスなど地域包括支援センターとお互いさまサロンの連携 ○ サロンの担い手の育成を図るため、「お互いさまリーダー養成講座」を年2回実施 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 令和6年度末時点の実績より、お互いさまサロン数の目標値である70か所を達成した。 今後も引き続き、お互いさまサロンの設置数の維持・増加を進めるため、適切に本業務の進行管理に努め、目標の達成のために取り組む。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | お互いさまサロン数の目標値である70か所を達成したため、今後は、お互いさまサロンの長期的な運営を支援するべく、地域包括支援センターと連携し、設置及び運営に関する助言並びに各補助金の周知に取り組む。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|--------------|----------|-------|---------|----|
| C S F | お互いさまサロンの設置数 | 10 か所 | 72 か所 | 70 か所 | ◎ |

| | | |
|---|---------------------|-----------|
| ⑦ | 事業名：シルバー人材センターの運営支援 | 事業課：福祉総務課 |
|---|---------------------|-----------|

| | |
|--|---|
| 施策の概要 | 定年退職後の高齢者の多様なニーズに応じ、地域社会の日常生活に密着した臨時的、短期的かつ軽易な就業機会を確保・提供し、高齢者の生きがいの充実、社会参加の促進による地域社会の活性化を図ることを目的として活動しているシルバー人材センター事業の円滑な実施を図るため、人件費の一部補助を行うもの。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | ○ シルバー人材センターに補助金を交付 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 毎年一定数の入会者数があるものの、会員の高齢化が進み、体調不良(病気)や高齢等を理由とする退会が入会者数を上回っているのが現状としてある。しかし、会員の就業率については横ばいで推移している傾向があり、シルバー人材センター事務局の就業機会の確保に向けた取組みによるものであると考えている。 また、定年後再雇用が社会的に浸透し、シルバー人材センターの入会率の低下にも影響しているのが現状としてあり、入会者数減少の一因であると考えている。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | シルバー人材センターは健康で働く意欲のある高齢者に、臨時的・短期的な就業の機会を提供し就業を通じて、地域社会への貢献や生活の充実、心身の健康維持にもつながることで「人生100年時代」を支える重要な仕組みの一つである。減少傾向にある会員数については、就業会員の協力も得ながら、説明会の開催等、引き続き会員の確保に努めていくとともに、研修会により会員の技能習得・向上に努め、講習会等により高齢者でも作業しやすく安全に就業できることをPRしていく。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|-------|----------|-------|---------|----|
| C S F | 登録会員数 | 1,092 人 | 970 人 | 1,170 人 | △ |

| | | |
|---|----------------------------|-----------------------|
| ⑧ | 事業名：高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的な実施 | 事業課：保険年金課、高齢福祉課、健康推進課 |
|---|----------------------------|-----------------------|

| | |
|--|---|
| 施策の概要 | 高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細かな支援を実施するため、後期高齢者の保健事業について、介護保険の地域支援事業や国民健康保険の保健事業と一体的に実施する。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 糖尿病性腎症等重症化予防事業を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 糖尿病性腎症等の高齢者に対する保健指導：保健指導参加者 16 名 ・ 健診結果に異常があるが、医療機関未受診の高齢者に対する受診勧奨：医療機関受診勧奨完了者 1 名 ・ 糖尿病性腎症等治療中断者に対する受診勧奨通知：医療機関受診勧奨完了者 2 名 ・ 令和 5 年度に保健指導を実施した者に対する継続支援：保健指導参加者 7 名 ○ 口腔機能向上・低栄養防止事業を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「歯つらつ教室」を 12 か所の通いの場で実施：参加者延べ 434 人 ・ 利用者への口腔機能の自己評価表にて、「オーラルフレイルの危険性が高い」と判定された者の割合が、事前評価時の 54.3%から事後評価時の 48.3%へと改善 ・ 利用者への事業終了後のアンケートにて、利用者の 67.6%が事業終了後に口腔ケアに関することを自宅で行っており、利用者の 82.1%が今後も通いの場において口腔ケアに関することをやりたいと回答 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | <p>本市の日常生活圏域全 4 圏域から参加者を募り、圏域・年齢・性別等偏ることなく参加者を確保することができたが、参加率が令和 5 年度と比較して低かったため、今後、参加者を確保する工夫を実施していきたい。</p> <p>また、今後も後期高齢者の対象者が参加しやすいよう、分かりやすい通知や安心して参加できる勧奨方法を検討していく。</p> <p>通いの場の本来の活動がある中で、1 つの通いの場での教室の実施回数及び実施時間が懸念となっていること、また、事業開始から 3 年目を迎え、既に実施済みの通いの場が増えてきていることから、事業を実施する通いの場の確保が課題となっている。</p> |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | <p>参加者を確保するため、参加勧奨架電時のトークスクリプトや案内のチラシを参加したくなるような内容となるよう検討していく。</p> <p>また、委託業者と連携を図り、一人一人に寄り添ったきめ細かな保健指導を実施し、高齢者の健康寿命の延伸を図る。</p> <p>教室の実施回数及び手順の見直しを図り、また、対象とする通いの場の基準を広く捉え、多様な通いの場で実施できるように改善する。</p> |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|-------|----------|----|---------|----|
| C S F | 事業の実施 | 未実施 | 実施 | 実施 | ◎ |

| | | |
|---|-------------------|-----------|
| ⑨ | 事業名：地域生活支援拠点等整備事業 | 事業課：障害福祉課 |
|---|-------------------|-----------|

| | |
|--|---|
| 施策の概要 | 障害者の重度化・高齢化や親なき後を見据えた、居住支援のための機能を持つ場所や体制を整備し、障害者が地域で生活できるように支援する。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和5年10月1日に社会福祉法人あすはの会と協定を締結し、以下の居住支援のための機能を整備済 <ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急時の受け入れ・対応 ・ 体験の機会・場 ○ 令和6年度に基幹相談支援センターを設置し、以下の機能を整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 相談 ・ 専門的人材の確保・養成 ・ 地域の体制づくりの機能 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 地域生活支援のための5つの機能を充実していくためには、基幹相談支援センターを中心として、各事業所とのネットワークの構築や協力体制の整備が必要である。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 地域生活支援拠点等の機能の充実していくために、基幹相談支援センターを中心にネットワーク化や連携体制の構築を進めていく。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|-------|----------|----|---------|----|
| C S F | 事業の実施 | 未実施 | 実施 | 実施 | ○ |

| | | |
|---|----------------|-----------|
| ⑩ | 事業名：相談支援機能強化事業 | 事業課：障害福祉課 |
|---|----------------|-----------|

| | |
|--|--|
| 施策の概要 | 障害者地域自立生活支援センターや精神障害者地域活動支援センターなどの相談支援機関への専門的職員(社会福祉士、精神保健福祉士など)を配置し、地域における相談支援事業を適正かつ円滑に実施する。 また、自立支援協議会の地域相談支援部会において定期的に会議を開催し、関係機関との連携を推進する。 |
| 令和6年度の 主な取組内容・実績 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 相談支援機関へ専門的職員を配置し、相談等の対応を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者地域自立生活支援センター：社会福祉士2人 ・ 精神障害者地域活動支援センター：精神保健福祉士5人、社会福祉士2人 ・ 障害者基幹相談支援センターの新設：精神保健福祉士1人、社会福祉士1人 ○ 自立支援協議会の地域相談支援部会を12回開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内の相談支援機関等と情報共有を図った。 |
| 目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など) | 複合的な問題を抱えるケースに対応するため、専門的知識を有する職員の確保に努めつつ、相談支援機関間の連携や市内の相談支援事業所等関係機関との情報共有協力体制の構築を図る。 |
| 課題を踏まえた 令和7年度以降の 主な取組等 | 重層的支援体制の整備とあわせて、障害者基幹相談支援センターを中心により一層の相談支援体制の強化に努める。 |

| KPI・CSF | 指標 | H30(現況値) | R6 | R7(目標値) | 評価 |
|---------|-------|----------|----|---------|----|
| C S F | 事業の実施 | 未実施 | 実施 | 実施 | ◎ |

参 考 資 料

第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略掲載事業 進捗状況一覧

| 基本目標 具体的施策 | 指標 | | | KPI・CSF | | | | | | | 総合戦略 ページ | 本編ページ |
|----------------------------------|----------------------|--------------------------|----------|--------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|-------------|-------|
| | 事業名称 | 指標 | 種類 | H30 (現況値) | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 (目標値) | | |
| 基本目標1 まちの魅力を向上させ、新たなひとの流れをつくる | | 市外からの平日の滞在人口 | 数値 目標 | 16,660人 | 13,259人 | 13,582人 | 13,504人 | 13,722人 | — | 17,493人 | 66 | 1 |
| | | 市外からの休日の滞在人口 | | 16,951人 | 12,690人 | 13,672人 | 14,084人 | 14,559人 | — | 17,799人 | 66 | 1 |
| (1) 戦略的な情報発信 | | 市ホームページアクセス数(トップページ) | KPI | 276,230件/年 | 664,850件/年 | 779,985件/年 | 478,999件/年 | 305,940件/年 | 286,408件/年 | 500,000件/年 | 68 | 2 |
| | ① 市ホームページ情報の充実 | カラーセルパナーに掲載するページ数 | CSF | 18ページ | 30ページ | 37ページ | 26ページ | 28ページ | 19ページ | 30ページ | 68 | 3 |
| | ② | 「はMM教え隊」市以外からのSNS発信数 | | 409回/年 | 346回/年 | 149回/年 | 56回/年 | 58件/年 | 0件/年 | 600回/年 | 68 | 4 |
| | ③ SNS等による広報手段の充実 | 市公式ツイッター「リツイート」数 | | 未実施 | 629回/年 | 2,832回/年 | 970回/年 | 654件/年 | 3,825件/年 | 1,200件/年 | 68 | 4 |
| | | 市公式フェイスブック「いいね!」件数 | | 817件/年 | 941回/年 | 960回/年 | 1,013回/年 | 1,108件/年 | 1,133件/年 | 1,200件/年 | 68 | 4 |
| (2) 創業を希望している市民への支援 | | 創業支援制度を利用した創業者数 | KPI | 2人/年 | 3人/年 | 5人/年 | 12人/年 | 8人/年 | 13人/年 | 21人/年 | 69 | 5 |
| | ① ウィメンズチャレンジプロジェクト | セミナー参加者数 | CSF | 705人/年 | 84人/年 | 346人/年 | 752人/年 | 249人/年 | 52人/年 | 750人/年 | 69 | 6 |
| | ② 空き店舗活性化事業への支援 | 空き店舗を活用した事業数 | | 0事業 | 0事業 | 0事業 | 0事業 | 0事業 | 0事業 | 2事業 | 69 | 7 |
| (3) 産業の振興と雇用の促進 | | 企業誘致制度を活用した企業誘致による新規就業人数 | KPI | 0人 | 4人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 10人 | 70 | 8 |
| | ① (仮称)産業振興ビジョンの策定 | (仮称)産業振興ビジョンの策定 | CSF | 未策定 | アンケート調査 | 策定 | 推進 | 推進 | 推進 | 策定 | 71 | 9 |
| | ② 企業誘致制度の拡充(新青梅街道沿道) | 企業誘致制度の対象拡大 | | 検討 | 検討 | 検討 | 検討 | 検討 | 検討 | 検討終了 | 71 | 10 |
| | ③ 工業地域における道路整備の推進 | 事業の推進 | | 未実施 | 未実施 | 検討 | 検討 | 検討 | 検討 | 検討 | 71 | 11 |
| | ④ 地域ブランド認証事業 | ブランド認証商品数 | | 11品目 | 10品目 | 10品目 | 10品目 | 9品目 | 10品目 | 15品目 | 71 | 12 |
| | ⑤ 村山大島線の振興 | 体験イベントへの参加者数及び見学者数 | | 251人 | 92人 | 32人 | 413人 | 560人 | 513人 | 300人 | 71 | 13 |

| 基本目標 具体的施策 | 指標 | | | KPI・CSF | | | | | | | 総合戦略 ページ | 本編ページ |
|-------------------------|-------------------------------|---------------------------------|-----|--------------|-----------|-----------|------------|----------|-----------|-------------|-------------|-------|
| | 事業名称 | 指標 | 種類 | H30 (現況値) | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 (目標値) | | |
| (4) 時代のニーズに対応する農業の創造 | | 新規就農者数の累計 | KPI | 1人 | 3人 | 3人 | 4人 | 4人 | 4人 | 6人 | 72 | 14 |
| | ① 認定農業者数 | 認定農業者数 | CSF | 39経営体 | 40経営体 | 40経営体 | 38経営体 | 43経営体 | 44経営体 | 45経営体 | 72 | 15 |
| | ② 観光農園の充実 | 観光農園数 | | 10か所 | 10か所 | 10か所 | 10か所 | 10か所 | 10か所 | 11か所 | 72 | 16 |
| | ③ 体験型市民農園の開設 | 体験型市民農園数 | | 2か所 | 2か所 | 2か所 | 2か所 | 2か所 | 2か所 | 3か所 | 72 | 17 |
| | ④ 援農ボランティア制度 | 援農ボランティアの登録者数 | | 13人 | 17人 | 14人 | 16人 | 19人 | 15人 | 25人 | 73 | 18 |
| (5) 個性豊かな観光施策の推進 | | 村山温泉「かたくりの湯」の入湯者数 ※ | KPI | 158,958人/年 | 68,139人/年 | 90,621人/年 | 147,648人/年 | 0人/年 | 0人/年 | 203,000人/年 | 74 | 19 |
| | ① 村山温泉「かたくりの湯」周辺を核とした交流エリアの形成 | 観光ルート(広域含む)の設定 ※ | CSF | 未設定 | 2ルート | 2ルート | 2ルート | 2ルート | 2ルート | 5ルート | 75 | 20 |
| | ② 観光マップの作成 | 観光マップの多言語化 | | 未実施 | 検討 | 検討 | 検討 | 検討 | 実施 | 実施 | 75 | 21 |
| | ③ 武蔵村山魅力マイスターの活動 | 登録人数 | | 25人 | 25人 | 17人 | 17人 | 17人 | 18人 | 35人 | 75 | 22 |
| | ④ ロケーションサービス | 受入件数 | | 未実施 | 6件 | 11件 | 17件 | 11件 | 14件 | 50件 | 75 | 23 |
| | ⑤ 文化財の観光資源としての活用 | 市民参加による歴史散策コースの設定 | | 2コース | 7コース | 7コース | 7コース | 7コース | 7コース | 4コース | 75 | 24 |
| | ⑥ 市民まつり(村山デエタラまつり)の開催 | 来場者数 | | 70,000人/年 | 未開催 | 未開催 | 37,525人/年 | 未開催 | 43,196人/年 | 80,000人/年 | 75 | 25 |
| | ⑦ 観光納涼花火大会の開催支援 | 会場来場者数 | | 14,000人/年 | 未開催 | 未開催 | 未開催 | 9,150人/年 | 9,200人/年 | 15,000人/年 | 75 | 26 |
| (6) 利便性の高い公共交通網の形成 | | 市内循環バス「MMシャトル」路線の1便当たり平均乗込人員 | KPI | 5.61人/年 | 3.45人/年 | 3.97人/年 | 5.35人/年 | 5.52人/年 | 5.84人/年 | 6.11人/年 | 76 | 27 |
| | ① 多摩都市モノレールの市内延伸の促進 | 事業の推進 | CSF | 推進 | 推進 | 推進 | 推進 | 推進 | 推進 | 推進 | 76 | 28 |
| (7) にぎわいと活力のある魅力的なまちづくり | | 都市核地区土地区画整理事業施行地区内の新青梅街道拡幅用地の確保 | KPI | 90% | 97% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 77 | 29 |
| | ① 新青梅街道沿道の用途地域等の変更及び地区計画の策定 | 新青梅街道沿道地区における地区計画の策定件数 | CSF | 1件 | 2件 | 4件 | 4件 | 4件 | 4件 | 4件 | 77 | 30 |
| | ② 立川都市計画道路3・4・39号線整備事業 | 拡幅整備 | CSF | 推進 | 推進 | 推進 | 推進 | 推進 | 推進 | 工事善工 | 77 | 31 |

| 基本目標 具体的施策 | 指標 | | | KPI・CSF | | | | | | | 総合戦略 ページ | 本編ページ |
|-------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|----------|----------------------|-------------------|-------------------|-------------------|----------------------|-----------------|----------------------|-------------|-------|
| | 事業名称 | 指標 | 種類 | H30 (現況値) | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 (目標値) | | |
| 基本目標2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望を かなえる | | 合計特殊出生率 | 数値 目標 | 1.55 | 1.37 | 1.21 | 1.21 (R3実績) | 1.24 | 1.01 | 1.60 | 81 | 32 |
| | | 「武蔵村山は安心して子どもを産み育てることができると感じる」と思う人の割合 | | 72.1% | 調査未実施 | 調査未実施 | 調査未実施 | 64% | 調査未実施 | 80%以上 | 81 | 32 |
| (1) 結婚・妊娠・出産・子育て への支援 | | 認可保育所の入所待機児童数 | KPI | 39人 | 37人 | 18人 | 0人 | 0人 | 4人 | 0人 | 83 | 33 |
| | ① 地域型保育事業 | 実施事業所数 | CSF | 未実施 | 検討 | 準備中 | 1か所 | 1か所 | 1か所 | 1か所 | 84 | 34 |
| | ② 延長保育の充実 | 延長保育の実施保育所数 | | 11か所 | 11か所 | 11か所 | 11か所 | 11か所 | 11か所 | 13か所 | 84 | 35 |
| | ③ 休日保育事業 | 休日保育の実施保育所数 (日曜日・祝日の保育) | | 未実施 | 1か所 | 1か所 | 1か所 | 1か所 | 1か所 | 1か所 | 84 | 36 |
| | ④ 病児・病後児保育事業 | 延べ利用者数 | | 234件/年 | 88件/年 | 311件/年 | 296件/年 | 419件/年 | 411件/年 | 550件/年 | 84 | 37 |
| | ⑤ 子育て世代包括支援センター (ハグはぐ・むらやま) | 保健師等による全ての子育て 家庭に対する面談率 | | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 84 | 38 |
| | ⑥ 予防接種情報システムの 運用 | 登録者数 | | 316件/年 | 330件/年 | 275件/年 | 301件/年 | 271件/年 | 245件/年 | 350件/年 | 84 | 39 |
| | ⑦ 市民、事業所における ワーク・ライフ・バランス の推進 | ワーク・ライフ・バランス 推進事業所の認定件数 | | 0件 | 0件 | 7件 | 11件 | 14件 | 24件 | 5件 | 84 | 40 |
| | ⑧ 市役所男性職員の育児休業 取得率の向上 | 取得率(5か年平均) | | 5.5% | 20.5% | 36.6% | 41.5% | 46.5% | 53.8% | 15.0% | 84 | 41 |
| (2) 子育てしやすいまちづくり | | 「武蔵村山は安心して子どもを産み育てることができると感じる」と思う人の割合 | KPI | 72.8% | 調査未実施 | 調査未実施 | 調査未実施 | 71.4% | 調査未実施 | 77.8% | 85 | 42 |
| | ① 移動式赤ちゃんの駅の活用 | 地域イベント等での活用 | CSF | 5件/年 | 1件/年 | 1件/年 | 2件/年 | 1件/年 | 3件/年 | 10件/年 | 86 | 43 |
| | ② 児童館親子ひろば事業 (絵本読み聞かせ・みんなであそぼう) | 絵本の読み聞かせ実施回数 及び参加者数 | | 46回/年 1,037人/年 | 46回/年 1,078人/年 | 48回/年 1,002人/年 | 48回/年 1,123人/年 | 48回/年 945人/年 | — | 48回/年 1,200人/年 | 86 | 44 |
| | ③ 絵本読み聞かせ事業(図書館 のおはなしの会) | 絵本の読み聞かせ実施回数 及び参加者数 | | 114回/年 1,014人/年 | 48回/年 163人/年 | 25回/年 120人/年 | 99回/年 478人/年 | 101回/年 615人/年 | 84回/年 597人/年 | 120回/年 1,200人/年 | 86 | 45 |
| | ④ 放課後子供教室の充実 | 放課後子供教室実施校数 | | 7校 | 7校 | 7校 | 9校 | 9校 | 9校 | 9校 | 86 | 46 |
| | ⑤ 放課後子ども総合プラン 事業の推進 | 一体系的運営を行う学童 クラブ及び放課後子供教室の 設置数 | CSF | 4か所 | 5か所 | 5か所 | 6か所 | 6か所 | 6か所 | 5か所 | 86 | 47 |
| | ⑥ 子どもの未来応援プラン の策定及び推進 | 将来のゆめが「ある」と 回答した児童・生徒の割合 | | 小5：77.1% 中2：57.9% | 調査未実施 | 調査未実施 | 調査未実施 | 小5：72.3% 中2：58.1% | 調査未実施 | 小5：80.0% 中2：62.0% | 86 | 48 |

| 基本目標 具体的施策 | 指標 | | | KPI・CSF | | | | | | | 総合戦略 ページ | 本編ページ |
|----------------------------------|---------------------------|--|----------|--|----------------------------|--|--|--|--|------------------------------------|-------------|-------|
| | 事業名称 | 指標 | 種類 | H30 (現況値) | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 (目標値) | | |
| (3) 子どもの知力・体力の向上 | | 高校進学に際して第一志望校へ合格する割合 | KPI | 83.2% | 88.6% | 92.2% | 86.6% | 91.2% | 94.9% | 85.0% | 87 | 49 |
| | ① 市学力調査 | 中学校1年生の国語の平均正答率と全国平均正答率との相対比率 | CSF | 91.6% | 未実施 | 92.9% | 調査未実施 | 86.7% | 90.2% | 100.0% | 87 | 50 |
| | ② 英語検定 | 中学校3年生の受験率 | | 40.6% | 39.2% | 37.9% | 31.3% | 34.8% | 33.9% | 60.0% | 87 | 51 |
| | ③ 東京都統一体力テスト | 小学校5年生のシャトルランの平均値(回数) 中学校2年生の持久走(男子1,500m、女子1,000m)の平均値(秒数) | | 男子49.2回 女子36.9回 男子395.6秒 女子295.6秒 | 調査一部未実施 | 男子38.7回 女子31.5回 男子395.7秒 女子295.6秒 | 男子42.4回 女子32.6回 男子421.3秒 女子315.7秒 | 男子42.3回 女子31.7回 男子433.0秒 女子322.0秒 | 男子44.9回 女子32.9回 男子412.4秒 女子309.9秒 | 男子51回 女子40回 男子386秒 女子286秒 | 87 | 52 |
| (4) 教育環境の整備 | | 不登校児童・生徒への教育相談等支援率 | KPI | 75% | 67.1% | 48.9% | 51.6% | 60.0% | 28.6% | 80% | 88 | 53 |
| | ① 教育相談室事業・スクールソーシャルワーカー事業 | 不登校出現率 | CSF | 小学校：0.79%/年 中学校：5.05%/年 | 小学校：0.92%/年 中学校：5.28%/年 | 小学校1.15%/年 中学校6.27%/年 | 小学校1.95%/年 中学校6.50%/年 | 小学校：2.56%/年 中学校：8.60%/年 | 小学校：2.42%/年 中学校：9.54%/年 | 小学校：0.54%/年 中学校：3.24%/年 | 88 | 54 |
| | ② スクールカウンセラーの配置 | 不登校出現率 | | 小学校：0.79%/年 中学校：5.05%/年 | 小学校：0.92%/年 中学校：5.28%/年 | 小学校1.15%/年 中学校6.27%/年 | 小学校1.95%/年 中学校6.50%/年 | 小学校：2.56%/年 中学校：8.60%/年 | 小学校：2.42%/年 中学校：9.54%/年 | 小学校：0.54%/年 中学校：3.24%/年 | 88 | 55 |
| 基本目標3 誰もが安心して暮らし続けられる地域をつくる | | これからも本市に住み続けたいと思う人の割合 | 数値 目標 | 31.1% | 調査未実施 | 調査未実施 | 調査未実施 | 調査未実施 | 34.1% | 36.1% | 91 | 56 |
| | | 20歳代の転出者割合 | | 12.6% | 13.8% | 13.5% | 13.3% | 13.5% | 12.9% | 11.6%以下 | 91 | 56 |
| (1) 交通利便性や美しい物環境の向上 に向けたまちづくり | | 公共交通の整備についての満足度 | KPI | 13.4% | 調査未実施 | 調査未実施 | 調査未実施 | 調査未実施 | 11.3% | 18.4%以上 | 92 | 57 |
| | ① 乗合タクシー「むらタク」の運行 | 利用者数 | CSF | 4,028人/年 | 2,979人/年 | 3,774人/年 | 11,156人/年 | 12,657人/年 | 12,494人/年 | 4,500人/年 | 92 | 58 |
| | ② まいど〜宅配事業 | 利用者数 | | 2,148人/年 | 2,001人/年 | 1,951人/年 | 2,115人/年 | 1,457人/年 | 1,354人/年 | 2,200人/年 | 92 | 59 |
| (2) 安心して暮らせるまちづくり | | 停電対策用資器材の避難所への備蓄 | KPI | 未実施 | 15か所 | 28か所 | 28か所 | 28か所 | 28か所 | 15か所 | 93 | 60 |
| | ① 防災士資格取得助成事業 | 防災士資格取得者数 | CSF | 9人 | 13人 | 14人 | 24人 | 26人 | 26人 | 37人 | 94 | 61 |
| | ② 風水害に対する防災訓練 | 訓練の実施 | CSF | 未実施 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | 94 | 62 |

| 基本目標 具体的施策 | 指標 | | | KPI・CSF | | | | | | | 総合戦略 ページ | 本編ページ |
|---------------------------|--------------------------|------------------------|-----|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|-------------|-------------|-------|
| | 事業名称 | 指標 | 種類 | H30 (現況値) | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 (目標値) | | |
| (3) 健康でいきいきと暮らせる まちづくり | | 市民の1年間での運動・ スポーツ実施率 | KPI | 集計調査未実施 | 61.9% | 調査未実施 | 調査未実施 | 調査未実施 | 調査未実施 | 70% | 95 | 63 |
| | ① 健康相談 | 参加者数 | CSF | 15人/年 | 209人/年 | 229人/年 | 250人/年 | 205人/年 | 239人/年 | 120人/年 | 96 | 64 |
| | ② 健康教室 | 参加者数 | | 211人/年 | 97人/年 | 108人/年 | 151人/年 | 156人/年 | 165人/年 | 660人/年 | 96 | 65 |
| | ③ ゲートキーパーの養成 | ゲートキーパーの養成数 | | 39人/年 | 18人/年 | 16人/年 | 16人/年 | 42人/年 | 47人/年 | 45人/年 | 96 | 66 |
| | ④ 総合型地域スポーツクラブの運営支援 | 総合型地域スポーツクラブ会員数 | | 290人 | 143人 | 122人 | 171人 | 172人 | 199人 | 390人 | 96 | 67 |
| | ⑤ スポーツ少年団の運営支援 | スポーツ少年団登録団体数 | | 1 団体 | 2 団体 | 2 団体 | 4 団体 | 4 団体 | 3 団体 | 6 団体 | 96 | 68 |
| | ⑥ お互いさまサロンの設置・運営支援 | お互いさまサロンの設置数 | | 10か所 | 56か所 | 60か所 | 62か所 | 66か所 | 72か所 | 70か所 | 96 | 69 |
| | ⑦ シルバー人材センターの運営支援 | 登録会員数 | | 1,092人 | 1,083人 | 1,079人 | 1,025人 | 987人 | 970人 | 1,170人 | 96 | 70 |
| | ⑧ 高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的な実施 | 事業の実施 | | 未実施 | 検討 | 検討 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | 96 | 71 |
| | ⑨ 地域生活支援拠点等整備事業 | 事業の実施 | | 未実施 | 検討 | 検討 | 検討 | 実施 | 実施 | 実施 | 96 | 72 |
| | ⑩ 相談支援機能強化事業 | 事業の実施 | | 未実施 | 検討 | 検討 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | 96 | 73 |